

棗河原遺跡(2)・田中沖遺跡Ⅲ

— 県道長野真田線道路改良事業地点 —

1998. 3

長野市教育委員会

序

長野盆地の南縁部左岸は千曲川による沖積地と、犀川による扇状地で形成されています。千曲川の自然堤防上には弥生時代から平安時代にかけての大規模な集落遺跡が展開し、古くから注目されている地域です。これに対し犀川の堆積物でおおわれた川中島扇状地の遺跡は開発行為の遅れもあって、扇端部に数遺跡しか周知されているにすぎませんでした。

しかし、昭和50年代に入ると川中島扇状地にも開発の波が押し寄せるようになり、本格的な発掘調査が行われるようになりました。その結果、田中沖遺跡・南宮遺跡・田牧居層遺跡・上九反遺跡などが発見され、序々にはありますが遺跡の規模や内容が明らかになりつつあります。

こうした中で、ここに平成4年から8年にかけて発掘調査を実施しました県道長野真田線の道路改良事業に伴う栗河原遺跡と田中沖遺跡の調査報告書を、長野市の埋蔵文化財第93集として上梓いたしました。

県道は松代と長野市街を結ぶ重要な幹線道路であるため、交通に支障をきたさない現道の一部と道路の拡幅部分を調査対象としました。そのため工事工程などのからみから5年にわたる長い年月をついやしました。

もとより田中沖遺跡は過去の調査から、道路改良事業地も帯状に展開する遺跡の東端に位置するものと推定されていましたが、栗河原遺跡については試掘調査によって確認された新発見の遺跡です。共に、遺跡の一部を明らかにしたにすぎませんが、川中島扇状地扇端部における古代人の生活の一端を垣間見る資料を提供できたものと自負いたしております。また、この報告書が地域古代史の解明や文化財保護の一助として、関係各方面に広くご活用いただければこの上ない喜びであります。

最後に、発掘調査から報告書刊行にいたるまで公私にわたり多大なご援助・ご指導を賜りました関係機関ならびに各位に心からお礼申し上げます。

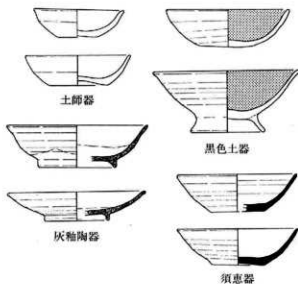
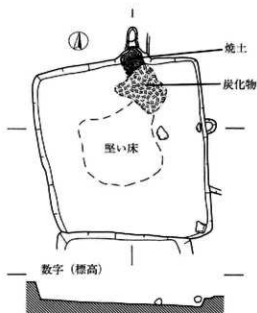
平成10年3月

長野市教育委員会
教育長 滝澤 忠男

例 言

- 1 本書は、県道長野真田線道路改良事業に伴う緊急発掘調査報告書である。
- 2 調査は、平成4・5年度の蕨河原遺跡においては長野県建設事務所長紅粉 彰、田中沖遺跡においては6年度と同佐藤隆雄、7・8年度と同羽一悦、9年度と同青木志雄と長野市長塚田 佐との委託契約に基づき、長野市教育委員会埋蔵文化財センターの直轄事業として実施した。
- 3 調査地は、蕨河原遺跡が長野市篠ノ井西寺尾2774-1他、田中沖遺跡が長野市小島田町1105他である。
- 4 調査対象地は、道路拉幅部を主体に調査可能な現道の一部及び関連事業の市道更北北218号線道路改良部である。蕨河原遺跡は約2,000㎡、田中沖遺跡は約6,700㎡を発掘調査した。
- 5 発掘調査は、蕨河原遺跡が平成4・5年度（総稼働83日）、田中沖遺跡が6～8年度（総稼働166日）に実施した。9年度は両遺跡の整理・報告書刊行作業を行った。
- 6 本書は、発掘調査によって検出された住居址及び同遺構出土遺物を中心に、原則として遺構番号順に版組し、その説明は遺構観察表・遺物観察表にまとめて提示した。
- 7 遺構測量は、平面直角座標第Ⅷ系の座標値と日本水準原点の標高を基準として、コーデックシステムを援用するため縮写真測図研究所に委託した。
- 8 遺構図は1：80、土器類・門石は1：4、鉄製品・砥石は1：3の縮尺でそれぞれ図化提示した。遺物図番号と遺物写真番号と一致する。
- 9 掲載図中、遺構略号が三文字以上記載の場合は先頭の文字は調査区を指し、後二文字は遺構の略号を表す。SB又はBは住居址、ST又はTは建物址、SK又はKは土坑、SE又はEは井戸址、SD又はDは溝址SXまたはXは堅穴状遺構・その他である。
- 10 発掘調査及び本書の執筆・図化・版組・編集などの担当者は第1章第3節調査の体制を参照されたい。
- 11 遺跡の略号は、蕨河原遺跡の1次が「NMⅠ」、2次が「NMⅡ」、田中沖遺跡が「TNOⅢ」である。
- 12 調査によって得られた諸資料は、長野市埋蔵文化財センターで保管している。

凡例



目次

序	
例言・凡例・目次	
第1章 調査に至る経過	1
第1節 調査に至る経過	1
第2節 調査の事務経過	2
第3節 調査の経過	4
第4節 調査の体制	4
第2章 調査地周辺の歴史的環境	6
第3章 壺河原遺跡(2)	9
第1節 検出遺構の概要(遺構観察表)	10
第2節 出土遺物の概要(遺物観察表)	12
第4章 田中沖遺跡III	47
第1節 検出遺構の概要(遺構観察表)	49
第2節 出土遺物の概要(遺物観察表)	51
第5章 結語	88

挿 図 目 次

第1図	年度別調査地点位置	3
第2図	川中島扇状地遺跡分布図	6
第3図	田中沖遺跡 遺構分布図	7
第4図	川中島扇状地の歴史事象	8
第5図	調査地及び遺構分布図	9
第6図	1次 1・2・4・5号住居址・出土土器実測図	16
第7図	1次 3・6・8号住居址・出土土器実測図	17
第8図	1次 7・9・10 12 14号住居址・出土土器実測図	18
第9図	1次 11 13 16号住居址・出土土器実測図	19
第10図	1次 15 17号住居址・出土土器実測図	20
第11図	1次 18～22号住居址・出土土器実測図	21
第12図	1次 23～25 27号住居址・出土土器実測図	22
第13図	1次 26 28～30号住居址・出土土器実測図	23
第14図	1次 1号井戸址・2・7・13 16号土坑・出土土器実測図	24
第15図	1次 1号建物址・6・7号溝址出土土器実測図、金属製品実測図	25
第16図	2次 1～6号住居址・出土土器実測図	26
第17図	2次 8～11号住居址・出土土器実測図	27
第18図	2次 12～1522号住居址・出土土器実測図	28
第19図	2次 17 18号住居址出土土器実測図	29
第20図	2次 16 19 21 23号住居址・出土土器実測図	30
第21図	2次 20 24 25号住居址・1号建物址・出土土器実測図	31
第22図	2次 1・2・27号土坑・出土土器実測図、溝址出土土器実測図	32
第23図	調査地及び遺構分布図	47
第24図	遺構分布図	48
第25図	A区1～3号住居址実測図、B区1・3・4住居址・出土土器実測図	54
第26図	B区2・5・12号住居址・出土土器実測図	55
第27図	B区6・13号住居址・出土土器実測図	56
第28図	B区9号住居址・出土土器実測図	57
第29図	B区7・10号住居址・出土土器実測図	58
第30図	B区11 15 17号住居址・出土土器実測図	59
第31図	B区14 19号住居址・出土土器実測図	60
第32図	B区16 18 20 21号住居址実測図	61
第33図	B区16 18 20 21号住居址出土土器、B-2区2～4号住居址・5号土坑実測図	62
第34図	B-2区1・5・6号住居址・出土土器実測図	63
第35図	B-2区7号住居址・1号竪穴状遺構、C区2号住居址・出土土器実測図	64
第36図	C区1・3・4号住居址・出土土器実測図	65
第37図	C区4・6住居址・C区1号竪穴状遺構出土土器実測図	66
第38図	C-2区1～5号住居址実測図	67
第39図	D区1～4号住居址・出土土器実測図	68
第40図	D区5・6・8～10号住居址・出土土器実測図	69
第41図	D区11～14号住居址・出土土器実測図、鉄製品・石製品実測図	70
第42図	粟河原遺跡住居址変遷図	71

第1章 調査に至る経過

第1節 調査に至る経過

県道長野真田線の道路改良事業は、上信越自動車道に対応する事業の一つで、長野インターと松代および長野市街を結ぶアクセス道路として計画・施行された。自動車道に隣接する県道中野更埴線を起点に、国道18号篠ノ井バイパス交差点を越え次の小島田交差点までを当面の目標とする事業である。起点から松代大橋を付け替え、市道五明西寺尾線交差点付近まで新設し、それ以北は現道を拡幅するもので延長約740m・幅員25mの道路である。以下、工事工程と埋蔵文化財の保護について概略する。

平成2年10月5日の平成3年度の事業地内（松代大橋以北の新設道路部分）についての保護協議に基づき、水田域の中に畑地目の微高地（篠ノ井西寺尾赤川2335）を選定し、12月15日に周辺の踏査及び試掘調査を実施した。遺物の散布はなく、埋蔵文化財の包蔵は確認されなかった。堆積状況は粘土質と砂質土壌が互層になり、おそらく急激な土砂の氾濫運搬による断続的に形成された土層であり、比較的新しい時期の微高地と考えられる。

平成4年度の工事区間は八幡原史跡公園南縁までの拡幅部である。11月12日付の確認調査依頼書の提出を受け、帯状の微高地を横断する宮堰の赤川橋以北に試掘坑を3箇所設定（西寺尾東河原2774-1）して、11月16日に調査したところ南側の二か所の試掘坑から平安時代の所産と考えられる遺構及び遺物を確認した。新発見の遺跡として登録するとともに工事着工前に記録保存の措置をとる必要がある旨関係機関に報告し、ただちに発掘調査の準備を進めた。遺跡名を字名から東河原遺跡とし、調査対象地を赤川橋から本年度工事予定のほぼ半地点の市道交差点までとした。発掘調査は12月7日から2月6日に実施した。

平成5年9月6日付で昨年度調査した東側個遺部の試掘調査の依頼に基づき、9月28日に任意の3地点（西寺尾東河原2766-1）を試掘調査したところ、既存道路基部工事が埋蔵文化財包蔵地に及んでいないことが判明した。この所見に基づき発掘調査による保護措置が必要になり、10月12日から1月13日に実施した。

平成6年5月11日の埋蔵文化財保護協議（以下、保護協議）において、本年度以降の工事区間は史跡公園以北で小島田交差点までが示され、拡幅部の地権者の同意のもとに試掘調査を依頼される。5月26日・27日に試掘調査を実施したところ、田中集落（字田中沖）の東端まで遺物包含層が確認され田中沖遺跡の存在を裏付け、さらに南側の水田域にかけても遺跡が展開していることが判明した。8月10日の保護協議で工事工程と調査体制との調整により本年度の発掘調査対象地を水田域の拡幅部（小島田町新田沖1105他）とし、発掘調査は稲刈り後の10月18日から1月31日に実施した。また、今後の発掘調査は、平成5年の上信越自動車道の共用開始に伴ない交通量の増加、道路改良工法の見直し等により拡幅部に限り、現遺部の調査をしないことにした。新たに県単高速道関連道路改良事業として市道更北北218号線道路改良計画が提起された。

平成7年4月3日付で史跡公園中央付近で、調査地と東河原遺跡の中間付近の小島田町新田沖1373他における試掘調査の依頼がある。調査の結果遺跡の存在は確認されない。8月2日に7年度事業の保護協議を行う。田中集落地籍（小島田町田中沖1102-1他）の詳細試掘調査の依頼をうける。8月22日に試掘調査を実施する。保護協議対象地の約南側半分に遺構の存在が確認される。よって本年度の発掘調査地は田中沖地籍の拡幅部と市道更北218号線交差点部地下道建設地とし、10月5日から3月28日に発掘調査を実施した。この他に関連事業の市道道路改良部に2か所の試掘坑設定して1月24日に調査したところ、共に遺構・遺物が確認された。また、八幡神社北西隅に所在（歩道予定地）する石囲井戸の保護協議を求められたが、由来や築造年代が不明であったことから、大正年間に奉納された石囲い及び上2段の石組施設を撤去し、下部施設は現状のまま埋没保存することにした。

平成8年4月1日付で市道道路改良部（小島田町新田沖1106-6他）の発掘調査の依頼を受け、4月7日から3月12日まで発掘調査を実施した。

第2節 調査の事務経過

[平成4年度]

11月2日付 文化庁長官宛文化財保護法（以下、法）98条の2第1項の規定に基づく「埋蔵文化財発掘調査の通知について」提出。

11月30日付 法57条の3第1項の規定に基づく「埋蔵文化財発掘の通知について」進達。

12月1日付 「埋蔵文化財発掘調査委託契約書」締結。

12月17日付 長野県教育委員会教育長（以下、県教育長）より「周知の埋蔵文化財包蔵地における土木工事等について（通知）」がある。

2月12日付 長野南警察署長（以下、警察署長）宛「埋蔵文化財の拾得について」、県教育長宛「埋蔵文化財保管証」提出。

3月31日付 「発掘調査委託事業実績報告書（以下、実績報告書）」提出。

[平成5年度]

10月6日付 法98条の2第1項の規定に基づく「埋蔵文化財発掘調査の通知について」提出。法57条の3第1項の規定に基づく「埋蔵文化財発掘の通知について」進達。

10月8日付 「埋蔵文化財発掘調査委託契約書」締結。

11月19日付 県教育長より「周知の埋蔵文化財包蔵地における土木工事等について（通知）」がある。

1月14日付 警察署長宛「埋蔵文化財の拾得について」、県教育長宛「埋蔵文化財保管証」提出。

3月25日付 「実績報告書」提出。

[平成6年度]

9月8日付 法57条の3第1項の規定に基づく「埋蔵文化財発掘の通知について」進達。

9月22日付 県教育長より「周知の埋蔵文化財包蔵地における土木工事等について（通知）」がある。

9月27日付 法98条の2第1項の規定に基づく「埋蔵文化財発掘調査の通知について」提出。

9月30日付 「埋蔵文化財発掘調査委託契約書」締結。

2月3日付 警察署長宛「埋蔵文化財の拾得について」、県教育長宛「埋蔵文化財保管証」提出。

3月13日付 「埋蔵文化財発掘調査変更委託契約書」締結。委託料等の減額変更。

3月17日付 「実績報告書」提出。

[平成7年度]

9月1日付 「開発行為にともなう埋蔵文化財発掘調査について（依頼）」受理。

9月4日付 法98条の2第1項の規定に基づく「埋蔵文化財発掘調査の通知について」提出。

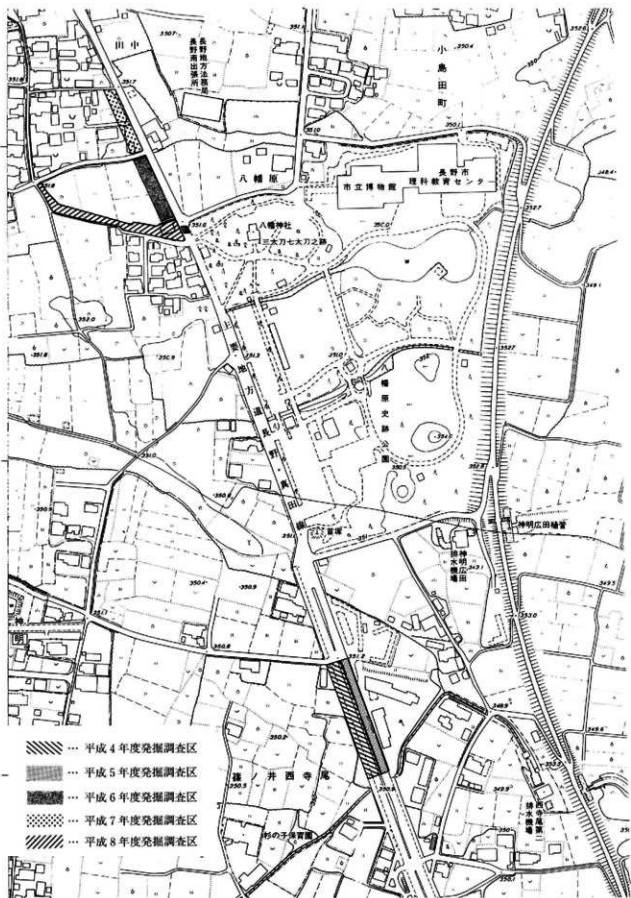
10月3日付 「埋蔵文化財発掘調査委託契約書」締結。

3月19日付 「埋蔵文化財発掘調査変更委託契約書」締結。委託料等の増額変更。

3月29日付 「実績報告書」提出。警察署長宛「埋蔵文化財の拾得について」、県教育長宛「埋蔵文化財保管証」提出。

[平成8年度]

平成8年3月1日付 法98条の2第1項の規定に基づく「埋蔵文化財発掘調査の通知について」提出。



第1図 年度別調査地点位置図

- 4月1日付 「開発行為にともなう埋蔵文化財発掘調査について（依頼）」受理。
- 4月5日付 「埋蔵文化財発掘調査委託契約書」締結。
- 3月13日付 警察署長宛「埋蔵物発見届」、県教育長宛「埋蔵文化財保管証」提出。
- 3月17日付 「埋蔵文化財発掘調査変更委託契約書」締結。委託料等の減額変更。
- 3月26日付 「実績報告書」提出。
- [平成9年度]
- 7月22日付 「埋蔵文化財発掘調査委託契約書」締結。整理・報告書刊行に伴う委託契約。
- 3月18日付 「実績報告書」提出。
- 3月31日 長野市の埋蔵文化財第93集「東河原遺跡（2）・田中沖遺跡Ⅲ」刊行。

第3節 調査の経過

[東河原遺跡]

平成4年12月7日から平成5年2月6日まで実質稼働37日をかけ、1,300㎡を発掘調査した。

遺構面は現地地表下約1.4mに展開しており、平安時代を中心とする竪穴住居址（以下、住居址）30軒・掘立柱建物址（以下、建物址）2棟・土坑23基・溝址10条等を検出した。遺構は調査区の中央部から南側にかけて集中的に確認され、北にいくにしたがって減少傾向になる。遺物では主に土師器や須臾器が出土したが、灰軸陶器の出土も目立つ。また、特筆すべき遺物に緑軸陶器・奈良三彩片がある。

平成5年10月12日から平成6年1月13日まで実質稼働46日をかけ、700㎡を発掘調査した。奈良時代の溝址2条の他、平安時代の住居址25軒・建物址1棟・土坑11基・溝址8条等を検出した。遺構の分布は前年度と同様の傾向がみられ、調査地点は遺跡の北端近くに位置するものと思われる。

[田中沖遺跡]

平成6年10月18日から平成7年1月31日まで実質稼働57日かけ、1,200㎡を発掘調査した。現地地表下90cm程に遺構面が展開し、検出された遺構は古墳時代から平安時代にかけての住居址22軒・土坑や柱穴多数・溝址3条である。遺構の分布は南側に密集する傾向にある。今回の調査での特記事項は、9号住居址から2個の円筒形土器が出土しており、17号住居址では多量の炭化材がみられ焼失住居と考えられることである。

平成7年10月5日から平成8年3月28日まで実質稼働43日かけ、3,150㎡を発掘調査した。古墳時代から平安時代の住居址12軒・土坑32基（中世を含）、溝址10条及び中世以降の所産と思われる畝状遺構を検出した。

平成8年4月7日から平成9年3月12日まで実質稼働66日かけ、2,350㎡を発掘調査した。古墳時代から平安時代住居址25軒・土坑35基・溝址3条・小穴多数を検出した。調査区の南側の試掘調査で遺構等が確認されないことから、今回の調査地が遺跡の南限と推定される。

第4節 調査の体制

調査委託者	長野県建設事務局長	紅粉 彰（H4・5）・佐藤隆雄（H6）・赤羽一悦（H7・8）・青木忠男（H9）
調査受託者	長野市長	塚田 佐
調査主体者	長野市教育委員会教育長	奥村秀雄（H4）・滝澤忠男（H5～）
	教育次長	小林丈志（H4・5）・柄沢 滋（H6）・清家祥雄（H7・8）・早水清美（H9）

- 教育次長副任 宮下富夫 (H4)・伝田長男 (H5・6)・宮下 武 (H7～)
- 総括管理者 埋蔵文化財センター所長 小山 正 (H4)・荒井和雄 (H5・6)・丸田修三 (H7～)
- 主 幹 鈴木良男 (H6)・小林重夫 (H9)
- 庶務係 所長補佐兼庶務係長 山中武徳 (H4 契約・出納事務～H6)・小林重夫 (H7～)
- 職 員 青木厚子 (出納事務・庶務)
- 調査係 調査係長 矢口忠良 (H3)
- 所長補佐兼調査係長 矢口忠良 (H4～、鉄製品実測・浄書、第1・2・5章執筆)
- 主 査 青木和明 (H2 保護協議、試掘調査)
- 主 事 千野 浩 (H4 主任調査員)
- 主 査 千野 浩 (H8～、報告書編集、遺物写真撮影、土器図浄書、写真プレート版組)
- 主 事 飯島哲也 (H4～6 保護協議、試掘調査)
- ” 風間栄一 (H6～)
- ” 小林和子 (H6～9 主任調査員、保護協議、試掘調査、遺構写真撮影)
- 専門主事 小松安和 (H4)・羽場卓雄 (H4・5)・太田重成 (H4～6)・清水武 (H5～)
- 専門員 中殿章子 (H5 調査員、東河原土器実測)・横山かよ子 (H4・5)・笠井敦子 (H5 調査員・H6)・寺島孝典 (H4 調査員・5 主任調査員、保護協議、試掘調査、遺構写真撮影～7)・山崎佐織 (H4 調査員)・山田美弥子・西沢真弓 (H5～)・田村直也 (H6 調査員)・田中 (小野)由美子 (H6～)・永井洋一 (H7)・堀内健次 (H7～)・藤田隆之 (H7～)・勝田智紀 (H8 調査員～)・宮川明美 (H8～)・小林まゆ佳 (H8～)

[臨時調査員]

青木善子 (H5 調査員)・池田寛子 (遺構図浄書)・多羅沢美恵子 (石器実測・浄書)・鳥羽徳子 (東河原土器実測)・武藤信子 (遺構整図・観察表、田中沖土器実測)・矢口栄子 (H5 調査員、田中沖土器実測、土器観察表、遺構図・土器図版組)

[東河原遺跡作業員]

相沢婦志子・池田賢二・池田見紀・今井和夫・岡沢治子・北島千春・小林愛子・小林利男・近藤利子・沢山ふじ子・鳥津一栄・清水春子・関崎文子・武田宮子・多城恵子・地代所洋子・常田千代江・中沢元子・中牧巳喜子・野村孝子・橋爪孝次・深沢要作・松田とく江・丸山 清・村松正子・横田文雄

[田中沖遺跡作業員]

池田賢二・伊藤節子・牛沢文男・大田米子・大内善雄・岡沢みち子・北沢まさる・小出 栄・小林愛子・小林ゆき子・沢山ふじ子・重岡重三・清水威武子・新保六郎・滝沢尚子・滝沢真由美・田中さち枝・徳武久子・徳成秋子・長沢はない・中島良次・長谷川忠男・羽田節子・半田 進・本田たかえ・三井ちづ子・宮尾厚子・宮尾千子・宮尾近子・宮沢良子・宮沢玲子・柳島忠男・吉沢 由・若林修子

[整理作業員]

池田見紀・岡沢治子・小泉ひろ美・徳成奈於子・西尾千枝・向山純子・武藤信子・松沢ナオエ・倉島敦子

第2章 調査地周辺の歴史的環境

調査地周辺を歴史的な事象によって位置の説明を求められるならば、永祿4年（1561年）の川中島の戦いで知られる川中島古戦場または八幡原古戦場と答えるのがわかりやすい。さらに付け加えるならば甲斐の武将武田信玄と越後の豪将上杉謙信が一騎打ちした所として知られている。だが、これらの伝承や場所比定にはNHKの大河ドラマに負うところが大きい。このような大戦闘が行われた場所としての観点から見れば、川中島扇状地の扇端部は扇状地の中でも早くから開発が進み、見晴らしのいい平地であったことを推測する。

川中島扇状地の開発はいつ頃から始まったのであろうか。遺跡のあり方や遺物から考えるに、立地的には調査地周辺の千曲川に近い扇端部からのようで、時代的には花立遺跡や田中遺跡から弥生時代後期の箱清水式土器が採集されており、この時期が初現のようである。ただし、この地は扇状地扇端部に位置することを考慮しなければならない。即ち扇中央部よりも上面を覆う土砂堆積が少なく、耕作などにより遺物が浮き出たものと思われ、扇中央部では地中深く眠っている可能性が否定できないからである。川中島扇状地での本格的な発掘調査は昭和53・54年に実施された国道18号バイパス建設工事に伴うもの（1,800㎡・田中遺跡Ⅰ）が最初で、その後平成年代に入って神明広田土地区画整理事業地（4,100㎡・田中遺跡Ⅱ）・日石長野インターSS建設地（100㎡・叡河



1 南宮遺跡 2 叡河原遺跡 3 田中遺跡Ⅱ 4 田中遺跡Ⅰ 5 田牧居塚遺跡
6 上九反遺跡 7 花立遺跡

第2図 川中島扇状地遺跡分布図（1：20,000）

原遺跡・長野県住宅供給公社稲里住宅団地造成地 (3,000㎡・田牧居場遺跡)・稲里中央土地区画整理事業地 (1,400㎡・上九反遺跡)そして市道五明西寺尾線・市道藤ノ井中586号線・南長野運動公園建設地 (61,800㎡・南宮遺跡)の発掘調査が次々と実施され、次第に扇端部から扇尖部にかけての遺跡の内容が明らかになりつつある。

扇尖部にも弥生時代の遺跡の存在の可能性を前述したが、これらの遺跡からは確認されていない。古墳時代の中期に至って再び人為行為が田中沖遺跡Iで確認できるようになる。居住施設ではなく2基の土坑が検出され、甕・小形丸底土器・高坏などが出土しており、農耕祭祀における土器埋納遺構と考えられている。近隣地域に該期の集落遺跡の存在を推測させる。集落跡としての始源は今のところ古墳時代後期後葉からである。田中沖遺跡・上九反遺跡に見られ、前者はバイパス地点で住居址8軒・土地区画整理事業地点で49軒、後者では14軒が確認されている。これらは遺跡範囲のうち破壊の懸念される一部分の調査であり、遺跡全体では数倍の住居址の存在が予想される。千曲川の対岸に位置する大室古墳群は5世紀中葉頃から7世紀末葉に至る時間帯の中で500余基の古墳をもって形成されたものと考えられており、中でも6世紀後半以降に築造の盛期を迎える。古墳群の性格を大室牧の牧場経営者層や植石塚・合掌形石室の存在などから朝鮮半島系の墓制を引く渡来人技術者層の奥津城と考える説もあるが、農業生産量の増大と被葬者層を考えると生産基盤の面的な拡大を考慮しなくてはならない。川中島扇状地の古墳時代の遺跡は古墳築造盛期の時期と基を一にして出現・展開することに注意する必要がある。まさに川中島扇状地の開発と集落の形成をなした豪族層と大室古墳群とは深い関わりを有していたと考えるのが古墳群形成上妥当性がある。

田中沖遺跡では古墳時代に引き続き奈良時代の集落が営まれるが、バイパス地点1軒・土地区画整理事業地点7軒と、集落規模は前代と比べて大幅に縮小するようになる。律令制による政治的規制によるものか、時期が短期間に限定されているためか、災害などによる人口減によるものかという縮小要因の結論を持ち得ない。

平安時代に入ると扇尖部から扇端部にかけて集落遺跡に再び活況を見ることのできるようになる。発掘調査を



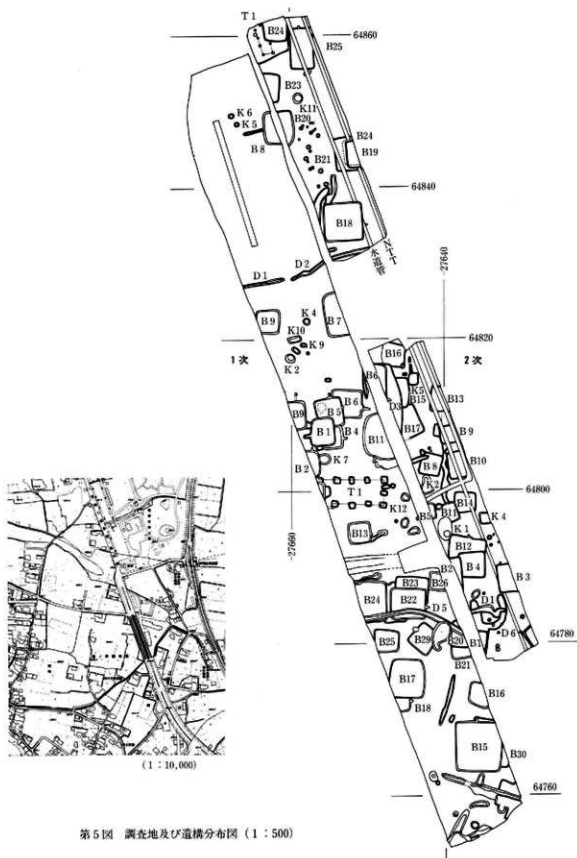
第3図 田中沖遺跡II遺構分布図 (1:2,000)

実施した全ての遺跡から居住施設などが確認されており、田中沖遺跡Ⅱ2軒・田中沖遺跡Ⅱ50軒・栗河原遺跡3軒・田牧居塚遺跡12軒・上九反遺跡11軒・南宮遺跡1,042軒の住居址が検出されている。このうち遺跡の内容を垣間見ることのできる南宮遺跡と田中沖遺跡Ⅱを瞥見する。南宮遺跡に人々が住むようになったのは古代5期（8世紀末から9世紀初頭）であり、大溝と自然流路で方形に区画した遺構群を形成した古代9・10期（10世紀前半から中頃）に隆盛を極めるも、次の古代11期（10世紀後半）には遺構数が激減し衰退期に入る。その後集落は散村形態となり、細々と続くものの古代15期（11世紀後半）に終焉を迎える。田中沖遺跡Ⅱも遺構密集度の高い遺跡で、古墳時代後期から平安時代に至るまで連続と継続することに特色がある。時間的には古代9期（10世紀前半）から古代11期に盛期があり、各期ごとに大型住居址が検出され、食器類を中心に大量の土器が出土している。承平5年（935年）頃完成された『和名類聚抄』には、川中島扇状地における古代村落名として斗女・池郷・氷鉋の郷名が記載されている。また延喜式内社として氷鉋斗女命神社・願気神社が存在する。記載順や現存名・遺跡の規模・多量の上出遺物そして特殊遺物などから南宮遺跡は斗女郷の中核集落、田中沖遺跡は池郷郷の中心的集落と比定して間違い無かろう。南宮遺跡の衰退の要因を、厚川による堆積土量が増加した自然流路や大溝の浚渫よりもまさっていたため、飲料水の確保や田畑への給水・汚物処理などの機能が失われたことに求めた。田中沖遺跡Ⅱでも古代13期を境に村落の衰退していくことを考慮すれば、厚川の洪水による流水の変化があったことも予想される。しかし、10世紀前半の大事件に平将門の乱がある。この乱は武士団の形成もしくは新たな新興勢力の台頭を意味するもので、川中島扇状地においてもこの時流の中で無関係ではあり得ないと考える。自ら新興勢力としてか、逆に防衛勢力として村落が結集する必要に迫られたことが考えられる。そうした政治的流れの中で急激に村落が解体・移転した可能性も捨てきれない。なぜなら古代13期まで多量の土器を出土する住居址があり、盛んに集會を催した痕跡を見ることができるからである。



第4図 川中島扇状地の歴史事象

第3章 棗河原遺跡(2)



第5図 調査地及び遺構分布図 (1:500)

第1節 検出遺構の概要（遺構観察表）

遺構名	図番号	時代	形態	規模(m)	主軸方向	内部施設等	遺物の概要
1次							
1号住居址	6	古代10期	隅丸長方形	3.8×3.1	N74°W	西壁カマド、SB4・5・10と重複	土師環、灰輪碗
2号住居址	6	7期前半	隅丸方形?	3.3×	南北	北壁カマド	黒色環、須恵環
3号住居址	7	7期後半	隅丸方形?	3.2×	南北	北壁カマド	黒色環・耳皿、須恵環(煎書)
4号住居址	6	10期	方形	3.0×3.1	N85°E	東壁カマド、SB1・5・10と重複	土師環
5号住居址	6	8期	方形	3.8×3.6	N3°W	北壁カマド、SB1・4・6・10と重複	土師環、黒色環・碗、灰輪皿
6号住居址	7	?	方形	4.0×3.8	N93°E	東壁カマド、一部周溝、SB5と重複	刀子、芋引金
7号住居址	8	10期	隅丸長方形?	6.0×	N7°W	鍛冶炉	土師環
8号住居址	7	9期?	方形?	×4.2	N75°W	西壁カマド	黒色碗
9号住居址	8	8期	方形	3.1×3.0	東西	東壁カマド	土師皿、黒色環・盤
10号住居址	8	?	長方形	3.6×2.8	N8°E	西壁カマド、柱穴	
11号住居址	9	11期	不整形?	6.0×		周溝	土師環・甕、黒色環・碗、灰輪皿・碗、鉄鏝
12号住居址	8	8期?	?		N9°W	東壁カマド(煙道のみ)	土師皿
13号住居址	9	7期後半	方形	2.9×2.8	東西	東壁カマド	黒色環(黒書)、土師甕
14号住居址	8	7期前半	方形?	3.3×	南北	北壁カマド、SD8と重複	須恵環
15号住居址	10	7期後半	方形	6.4×6.1	N2°E	北壁カマド、主柱穴4本、SB27・30と重複	黒色環、灰輪皿・碗・長頸瓶
16号住居址	9	?	方形?	3.0×2.8?	N8°E		灰輪碗、鉄製騎輪車、刀子
17号住居址	10	9期	方形	4.8×5.0	東西	東壁カマド	土師環・羽釜、黒色環・碗、奈良三彩、磁石
18号住居址	11	7期前半	方形?	×2.8	N7°W	東壁カマド、SB17と重複	黒色環、須恵環
19号住居址	11	7期前半	?			SD9と重複	黒色環、須恵環
20号住居址	11	?	方形?		N10°E	北壁カマド?、SB21と重複	
21号住居址	11	9期?	?			SB20と重複	黒色盤
22号住居址	11	12期	長方形	4.8×3.9	N4°W	東壁カマド・SB23・28と重複	土師環甕、黒色碗
23号住居址	12	8期?	長方形	4.5×3.5	東西	SB22・28と重複	黒色碗
24号住居址	12	7期前半?	方形?	5.4×	南北	SB28と重複	須恵環
25号住居址	12	7期前半	方形	2.9×3.3	N6°E	北壁カマド	黒色環、須恵環、土師甕
26号住居址	13	11期	方形	2.4×2.3	N12°E	北壁カマド	土師環・甕、黒色碗
27号住居址	12	?	?		南北	SB15・30と重複	
28号住居址	13	?	長方形	5.2×3.0	N2°W	北壁カマド、SB22と重複	
29号住居址	13	古墳後期	方形	3.2×3.4	N46°W	西壁カマド	土師環・鉢
30号住居址	13	?	?		N5°E	北壁カマド、SB15と重複	

遺構名	図番号	時代	形態	規模(m)	主軸方向	内部施設等	遺物の概要
1号井戸址	14	平安	不整形	×4.1	深2.9 _m		
2号土坑	14	平安	楕円形	1.1×1.2	深0.4 _m		黒色盤
7号土坑	14	平安	楕円形	1.5×	深0.15 _m		土師坏
13号土坑	14	平安	不整形	1.4×1.1	深0.3 _m		灰釉椀
16号土坑	14	平安	不整形楕円形	3.9×2.3	深0.3 _m	SD5と重複	黒色坏、須恵坏、灰釉皿
1号建物址	15	奈良?	長方形配列	4間×2間	東西	不整長方形掘方	
2次							
1号住居址	16	?	?		N8°E		
2号住居址	16	9期	?		N5°W	SB4・12と重複	黒色坏・椀
3号住居址	16	7期?	方形?	3.8×	N5°W		須恵短頸壺
4号住居址	16	9期?	方形?	3.5×3.4	東西	SB1と重複	黒色坏
5号住居址	16	9期?	方形?	2.1×	N8°W		黒色盤(刺書)
6号住居址	16	12期	方形?		N6°W	北壁カマド、SD3と重複	土師坏
8号住居址	17	7期後半	方形	3.0×3.0	N12°E	北壁カマド	土師坏、黒色坏、須恵坏、灰釉椀
9号住居址	17	7期前半?	方形	2.6×	N5°W		須恵坏
10号住居址	17	7期後半	?	3.6×	N9°W		黒色坏・片口鉢、須恵坏、灰釉皿、土師甕
11号住居址	17	8期	長方形	2.6×1.9		SB14と重複	土師坏、須恵坏
12号住居址	18	8期?	不整形	4.7×5.0	N7°E	北壁カマド	黒色坏、灰釉椀、土師甕、土鐘
13号住居址	18	7期後半?	長方形	3.6×	N3°W		
14号住居址	18	?	方形	2.7×2.9	南北	SB11と重複	
15号住居址	18	7期後半	方形?	3.9×	N5°W	SB17に重複	黒色坏、須恵坏、土師甕
16号住居址	20	7期後半	方形	3.1×	N12°E		黒色坏、土師甕、灰釉椀、緑釉皿
17号住居址	19	?	方形?	×3.9		SB15と重複	
18号住居址	19	9期	方形	5.1×5.1	N86°E	東壁カマド、鍛冶炉、主柱穴3	土師坏・椀、黒色坏・椀、灰釉椀
19号住居址	20	12期	方形?	3.3×	南北	SB21・22に重複	土師坏、黒色椀、灰釉椀
20号住居址	21	9期?	?		N85°W	南壁カマド	
21号住居址	20	?	方形?	4.4×	南北	SB19、22に重複	
22号住居址	18	?	方形?	3.1×	南北	南壁カマド、SB19・21と重複	
23号住居址	20	8期	方形?	3.7×	N3°E	北壁カマド	黒色坏、土師甕
24号住居址	21	8期?	方形?	3.1×	N84°E	東壁カマド・SB24、ST1と接する	黒色坏
25号住居址	21	8期?	長方形	5.5×3.1	N4°W	北壁カマド	黒色坏、須恵坏
1号土坑	22	5期?	楕円形	3.2×1.9	深1.0 _m		須恵椀
2号土坑	22	7期後半	不整形楕円形	2.4×1.6	深0.3 _m		黒色坏、須恵坏
1号建物址	21	9期?	長方形配列	1間×3間	南北	円形ピット、SB24と重複	

第2節 出土遺物の概要（遺物観察表）

番号	種別	器種	法量 (cm)			遺存	調整等
			口径	底径	器高		
1次SB1 (6図)							
1	土師	環	9.4	4.4	3.0	完	
2	土師	環	11.0	6.0	3.2	1/3	
3	灰釉	椀	14.8	8.0	4.5	1/3	
1次SB2 (6図)							
4	黒色	環	13.0	5.8	4.1	5/6	
5	黒色	環	12.6	6.7	4.1	3/4	
6	黒色	環	12.4	5.0	4.0	1/4	
7	須恵	環	12.0	6.2	3.3	1/3	
8	須恵	環	12.6	5.6	4.0	2/5	
9	須恵	環	12.8	5.7	3.9	完	外底部「X」へラ記号
1次SB4 (6図)							
10	土師	環	10.8	5.2	3.2	1/2	
11	土師	環	10.4	4.8	3.2	5/6	
12	土師	環	10.6	3.8	3.3	5/6	
13	土師	環	12.6	4.7	3.9	1/3	
1次SB5 (6図)							
14	土師	環	12.7	5.5	3.9	1/3	
15	黒色	環	12.8	5.6	4.0	3/4	底へラケズリ
16	黒色	椀	15.4	7.6	6.6	1/3	内へラミガキ
17	灰釉	皿	14.6	6.6	3.1	1/4	
1次SB3 (7図)							
18	黒色	耳皿		5.5		1/4	内外黒
19	須恵	環		6.0		ママ	底へラ記号
20	黒色	環	13.4	5.5	4.5	1/2	
21	黒色	環	14.1	5.7	6.3	完	内外黒
22	黒色	環	18.0	6.5	6.1	1/2	
23	土師	小形甕	6.1			1/2	網代底
24	土師	甕	26.2	6.4	31.8	4/5	外へラケズリ、内タテナデ
25	土師	甕	19.0			1/2	外口クロナデ
26	土師	甕	15.9	6.5	14.6	1/2	外へラケズリ、内口クロナデ
27	土師	甕	20.1			1/4	外へラケズリ、内ナデ
1次SB8 (7図)							
28	黒色	椀	12.4	5.6	5.5	3/4	内へラミガキ
1次SB7 (8図)							
29	土師	環	11.7	5.8	3.7	1/3	

番号	種別	器種	法量 (cm)			遺存	調整等
			口径	底径	器高		
30	土師	環	11.6	4.6	3.7	1/3	
31	土師	環	12.1	4.4	3.4	1/5	
32	土師	環	11.8	5.1	3.7	完	
33	土師	環	11.4	5.4	3.5	3/4	
34	土師	環	11.4	4.4	3.8	1/2	
1次SB9 (8図)							
35	土師	皿	13.2	4.5	3.3	1/2	
36	黒色	高台皿	13.2	7.0	2.9	1/3	
37	黒色	環	12.1	5.4	4.7	1/3	
1次SB14 (8図)							
38	須恵	環	13.2	7.0	4.2	1/2	
39	須恵	環	14.0	6.8	4.3	1/3	
1次SB12 (8図)							
40	土師	皿	11.2	5.7	1.4	完	外黒書(不明瞭)
1次SB11 (9図)							
41	土師	環	9.4	4.3	2.6	完	
42	土師	環	9.2	4.5	2.4	5/6	
43	土師	環	9.3	4.8	2.8	5/6	
44	土師	環	9.4	3.9	2.7	3/4	
45	土師	環	9.2	3.7	2.5	3/5	
46	土師	環	9.8	4.1	2.6	3/4	
47	土師	環	9.6	4.6	2.9	3/4	
48	土師	環	9.8	5.5	2.7	1/2	
49	土師	環	12.6	4.5	4.0	3/4	
50	土師	環	12.6	4.8	4.0	3/5	
51	黒色	椀	15.0	6.8	6.4	3/4	
52	黒色	椀	14.4	6.4	7.4	3/4	内外黒・内外へラミガキ
53	灰釉	段皿	13.1	6.2	2.4	1/2	
54	灰釉	椀	14.5	7.0	6.6	2/5	
55	土師	小形甕	11.4			1/4	外へラケズリ
56	土師	甕	19.8			1/5	ケズリのちナデ、指押え痕
1次SB13 (9図)							
57	黒色	環	12.8	5.1	4.0	1/3	
58	黒色	環	12.5	5.2	4.0	5/6	
59	黒色	環	13.7	5.6	4.4	1/4	底糸切りのちへラケズリ
60	黒色	環	13.6	5.5	4.1	1/3	底糸切りのちへラケズリ、黒書

番号	種別	器種	法量 (cm)			道存	調整等
			口径	底径	器高		
61	土師	甕	13.8			1/4	外カキメ、内ナデ
1次SB16 (9回)							
62	灰釉	椀	14.6	6.4	4.6	1/2	
1次SB15 (10回)							
63	黒色	杯	11.8	5.8	4.5	3/4	
64	黒色	杯	13.0	6.0	4.5	1/2	
65	黒色	杯	13.2	5.8	4.2	1/3	
66	黒色	杯	12.8	6.1	4.2	3/4	
67	黒色	杯	13.2	7.0	4.4	3/4	
68	黒色	杯	12.8	5.1	4.6	3/5	
69	黒色	杯	15.7	6.7	5.2	完	
70	灰釉	皿	17.2	8.6	3.4	1/4	
71	灰釉	瓶	12.7				ママ
72	須恵	杯	12.7	5.6	4.6	3/4	
73	須恵	杯	12.8	5.4	4.7	1/2	
1次SB17 (10回)							
74	土師	杯	12.8	4.6	4.4	5/6	
75	黒色	杯	13.2	5.1	4.0	2/3	
76	黒色	椀	14.7	6.6	6.7	3/4	
77	黒色	椀	14.6	6.9	6.0	1/3	内外黒
78	土師	羽釜	21.0			3/5	
1次SB18 (11回)							
79	黒色	杯	14.0	8.2	3.3	3/4	
80	黒色	杯	14.4	7.6	3.7	1/3	
81	須恵	杯	11.7	5.4	4.0	1/4	
1次SB19 (11回)							
82	黒色	杯	12.6	5.6	3.8	3/4	
83	黒色	杯	14.0	5.6	4.9	3/4	底ヘラケズリ
84	須恵	杯	13.8	6.0	3.7	3/4	
85	須恵	杯	13.0	5.2	4.0	1/2	
1次SB21 (11回)							
86	黒色	高台皿	13.1	7.0	2.3	3/5	内外黒、ヘラミガキ
1次SB22 (11回)							
87	土師	杯	10.8	4.7	3.0	1/3	
88	黒色	椀	14.0	7.6	5.9	1/2	
89	土師	甕	16.0			1/4	
1次SB23 (12回)							
90	黒色	椀	15.4	7.8	6.3	3/5	
1次SB24 (12回)							

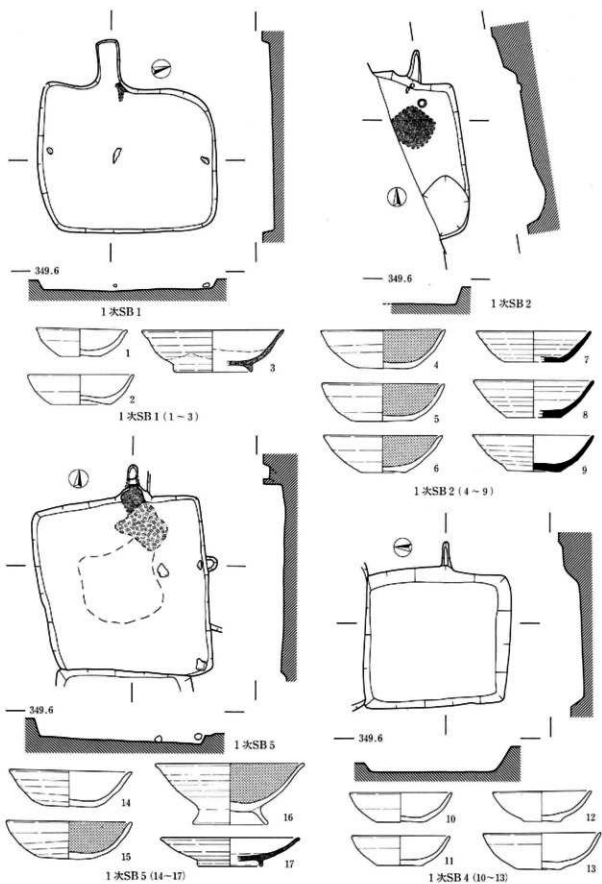
番号	種別	器種	法量 (cm)			道存	調整等
			口径	底径	器高		
91	須恵	杯	13.6	7.8	3.7	1/2	
1次SB25 (12回)							
92	黒色	杯	12.8	6.1	4.4	完	底ヘラケズリ
93	須恵	杯	13.2	6.0	4.0	3/4	火ダスキ痕
94	須恵	杯	13.2	7.8	4.1	3/5	火ダスキ痕
95	須恵	高台杯	12.4	8.6	3.8	1/3	
96	土師	小形甕	11.4	6.8	10.0	3/4	
97	土師	甕	20.0			1/3	
1次SB26 (13回)							
98	土師	杯	11.8	4.2	3.0	3/4	
99	土師	杯	11.6	4.4	3.7	完	
100	黒色	杯	12.2	4.7	3.2	3/4	
101	黒色	椀	14.1	7.6	5.6	完	
102	土師	小形甕	13.8	7.2	11.4	5/6	外口クロナデ
103	土師	甕	20.2			7/8	外ヘラケズリ
1次SB29 (13回)							
104	土師	小甕	15.0				ママ
105	土師	小甕	14.6				ママ
106	土師	杯	11.2	5.7	5.1	5/6	ヘラミガキ、外ヘラ記号「X」
1次SK2 (14回)							
107	黒色	盤	12.4			1/4	内外黒
1次SK7 (14回)							
108	土師	杯	10.0	4.6	2.8	5/6	
1次SK13 (14回)							
109	灰釉	椀	16.8	9.6	6.9	1/4	
1次SK16 (14回)							
110	黒色	杯	12.9	5.6	4.3	完	
111	黒色	杯	12.9	5.2	4.0	1/2	
112	黒色	杯	12.9	5.2	4.0	3/4	
113	黒色	杯	12.6	4.8	4.4	1/2	
114	黒色	杯	13.0	5.4	4.4	3/5	
115	須恵	杯	11.8	5.2	4.0	1/3	
116	灰釉	皿	14.2	6.8	3.0	完	
117	灰釉	皿	16.0	7.2	3.1	3/4	内重ね焼痕
1次SD6 (15回)							
118	土師	杯	9.6	4.0	2.5	完	
119	黒色	杯	13.3	5.4	4.1	完	底ヘラケズリ
120	須恵	長頸壺		7.6			ママ
121	黒色	杯	13.8	7.6	5.1	1/4	底ヘラケズリ

番号	種別	器種	法量 (cm)			重存	調整等
			口径	底径	器高		
1次SD7(15回)							
122	黒色	環		6.8		1/3	
123	土製品	土鉢	長7.0・径2.6				
金属製品(15回)							
124	鉄製品		長16.2・幅1.0~2.8				
125	鉄製品	浮引金	長18.6・幅3.7				
126	鉄製品	器具	縦4.0・横5.0				
127	鉄製品	器具?	縦4.0・横5.0				
128	鉄製品	鉄					
129	鉄製品	鉄	刃部6.0・柄8.5				
130	鉄製品						
131	鉄製品	刀?	刃部8.5				
132	鉄製品	紡錘車	直径5.7・厚さ0.7				
2次SB2(16回)							
133	黒色	環	12.5	4.0	4.5	1/2	底部ヘラケズリ
134	黒色	環	13.4	5.3	4.7	2/3	
135	黒色	椀	14.8	8.6	5.8	1/2	
2次SB3(16回)							
136	須恵	短頸壺	5.3	4.0	5.3	1/3	ミニチュア
2次SB4(16回)							
137	黒色	環	13.3	6.0	3.4	完	
2次SB5(16回)							
138	黒色	盤?	12.0	6.2	2.6	3/4	内外黒、胡書(和)
2次SB6(17回)							
139	土師	環	9.8	3.6	2.5	2/3	
140	土師	環	9.8	4.2	2.6	5/6	
141	土師	環	9.2	3.6	3.0	5/6	
142	土師	環	10.4	4.9	2.9	3/4	
2次SB8(17回)							
143	土師	環	13.2	5.8	4.0	1/2	
144	黒色	環	13.0	6.4	4.4	3/4	
145	黒色	環	13.2	5.7	4.1	5/6	
146	須恵	環	13.3	6.3	3.8	3/4	
147	灰釉	椀	11.8	6.5	3.8	1/5	
2次SB9(17回)							
148	須恵	環	13.3	5.6	3.6	3/5	
2次SB10(17回)							
149	黒色	環	13.0	5.8	4.2	3/4	

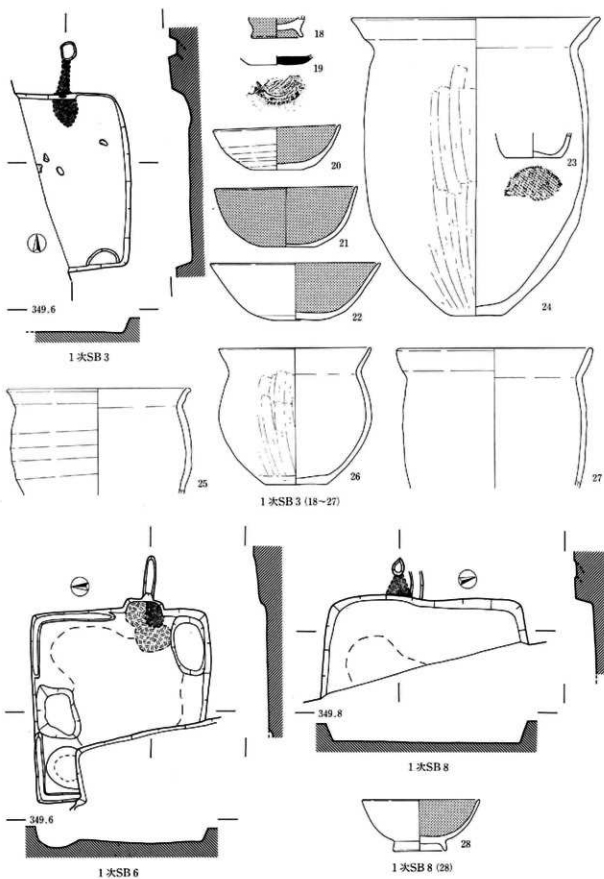
番号	種別	器種	法量 (cm)			重存	調整等
			口径	底径	器高		
150	黒色	環	13.0	5.8	4.2	3/4	
151	黒色	環	13.2	6.0	4.3	3/4	
152	黒色	環	15.6	5.6	6.0	3/5	
153	須恵	環	12.4	5.0	3.5	1/2	
154	須恵	環	13.0	5.2	3.4	3/4	
155	須恵	環	12.6	5.6	4.1	5/6	
156	緑釉	皿	13.4			1/6	
157	土師	小形甕	11.1	5.4	10.1	3/4	外カキメ
158	黒色	片口鉢	24.2			3/5	
2次SB11(17回)							
159	土師	環	12.2	5.0	3.8	3/4	
160	須恵	環	13.4	8.3	4.0	2/3	
2次SB13(18回)							
161	黒色	環	13.4	5.8	4.5	2/3	
2次SB12(18回)							
162	黒色	環	13.2	4.6	4.5	1/2	
163	黒色	環	16.8	7.4	5.6	3/4	
164	黒色	環	12.8	6.2	5.0	3/4	底一部ヘラケズリ
165	灰釉	椀	12.4	6.0	3.8	1/4	
166	土師	甕	23.4			1/3	外ヘラケズリ、内ハケ
167	土製品	土鉢	外径2.8・内径1.0			1/4	
2次SB15(18回)							
168	黒色	環	12.1	5.7	4.5	3/4	
169	黒色	環	13.1	5.4	4.2	3/4	
170	須恵	環	12.8	6.0	3.9	1/4	
171	土師	甕	18.8			1/4	
2次SB18(19回)							
172	土師	環	11.6	5.0	2.8	完	
173	土師	環	12.2	5.2	3.4	3/4	
174	土師	環	12.1	4.6	3.5	1/3	
175	土師	環	12.1	4.2	3.5	5/6	
176	土師	環	12.3	4.6	3.8	3/4	
177	土師	環	11.5	4.0	3.5	3/4	
178	土師	環	11.3	4.4	3.7	3/4	
179	土師	環	11.2	4.4	2.9	3/5	
180	土師	環	11.5	4.5	3.5	1/2	
181	土師	環	11.6	4.0	3.5	3/5	

番号	種別	器種	法量 (cm)			遺存	調整等
			口径	底径	器高		
182	土師	坏	12.4	5.2	2.9	3/4	
183	土師	坏	12.0	4.5	3.7	3/4	
184	土師	坏	11.9	5.2	3.7	1/2	
185	土師	坏	11.9	4.4	3.7	3/4	
186	土師	坏	12.0	4.4	3.8	完	
187	土師	坏	12.0	4.8	3.6	3/4	
188	土師	坏	11.9	4.6	4.0	5/6	
189	土師	盤	13.1	7.2	3.9	1/2	
190	土師	盤	13.1	7.2	3.9	3/5	
191	土師	盤	13.2	7.2	3.9	1/3	
192	黑色	坏	14.1	5.7	5.0	3/4	
193	黑色	坏	15.0	6.0	5.4	3/4	
194	黑色	坏	14.2	5.0	5.9	1/2	内放射状暗文
195	黑色	碗	12.0	6.2	5.6	完	内外黑色?
196	黑色	碗	14.4			3/4	
197	黑色	碗	14.5	8.2	5.5	5/6	
198	灰釉	碗	16.4	8.0	5.9	1/5	
199	土師	甕	22.6			1/7	
2次SB18 (20図)							
200	黑色	坏	13.6	5.4	4.8	1/2	
201	黑色	坏	13.2	5.2	4.0	1/2	
202	黑色	坏	13.2	4.2	4.5	3/4	
203	黑色	坏	13.6	5.4	3.8	3/4	
204	黑色	坏	16.2	6.4	5.8	1/2	
205	灰釉	碗	17.4	7.4	5.2	1/3	
206	緑釉	皿	13.4			1/6	
207	土師	甕	15.6			1/4	
2次SB19 (20図)							
208	土師	坏	9.6	4.2	2.7	3/4	
209	土師	坏	9.9	3.0	2.7	5/6	
210	土師	坏	13.9	5.0	4.3	3/4	
211	黑色	碗	11.4	6.0	4.7	3/4	
212	灰釉	碗	15.7	8.2	6.2	3/4	
2次SB23 (20図)							
213	黑色	坏	13.3	6.1	3.7	2/3	
214	土師	甕	12.6			1/3	
215	土師	甕	16.2			1/4	
2次SB20 (21図)							
216	黑色	碗	13.3	7.1	6.2	3/5	

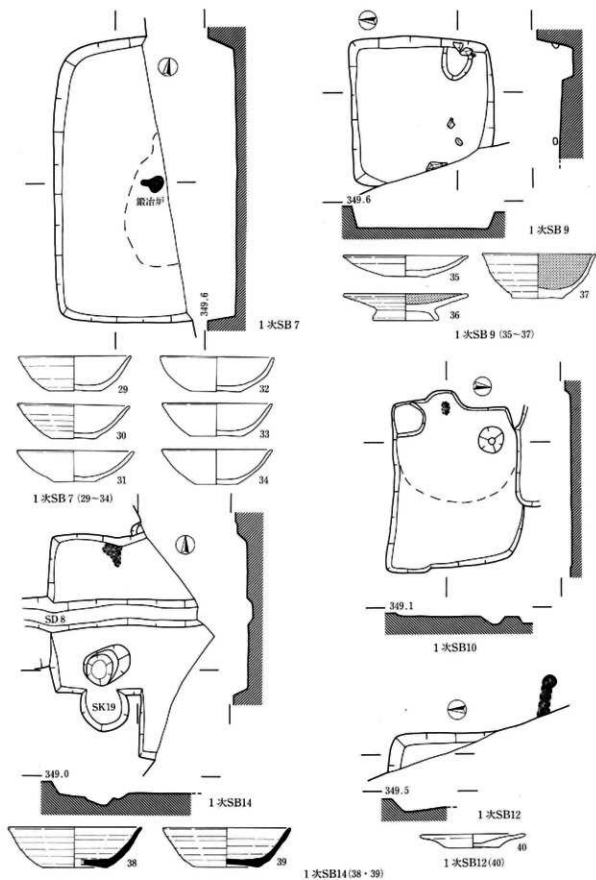
番号	種別	器種	法量 (cm)			遺存	調整等
			口径	底径	器高		
217	緑釉	皿	12.0	6.6	2.4	2/3	輪花
218	土師	羽釜	23.0			1/3	
2次SB24 (21図)							
219	黑色	坏	12.8	6.2	3.3	2/3	
2次SB25 (21図)							
220	黑色	坏	12.2	4.1	4.1	1/4	
221	黑色	坏	14.0	5.4	3.6	1/2	
222	須恵	坏	12.4	5.6	3.5	2/3	
2次SK1 (22図)							
223	須恵	高台坏	10.7	7.5	4.1	1/2	
2次SK2 (22図)							
224	黑色	坏	13.8	6.5	5.1	1/3	
225	黑色	坏	13.4	5.4	4.3	4/5	
226	黑色	坏	14.4	6.4	5.0	1/2	
227	黑色	坏	12.2	6.0	4.2	1/4	
228	黑色	坏	11.6	5.9	5.3	1/3	
229	須恵	坏	12.8	5.5	4.0	4/5	
230	須恵	坏	12.8	6.0	4.3	1/2	
2次SK7 (22図)							
231	黑色	坏	16.5	7.2	5.8	1/2	
232	土師	甕	23.5			1/3	
2次SD2 (22図)							
233	黑色	碗	14.1	6.2	7.0	1/3	
2次SD3 (22図)							
234	須恵	坏	12.4	4.8	3.9	1/3	
235	黑色	盤	12.2			1/3	
2次SD4 (22図)							
236	須恵	坏	13.4	6.8	4.0	1/3	
2次SD6 (22図)							
237	土師	坏	13.1	5.4	4.1	1/4	
238	黑色	坏	13.5	6.8	3.9	完	底へラケズリ
239	黑色	坏	12.7	5.0	4.8	1/2	
2次SD8 (22図)							
240	須恵	坏	12.6	6.2	3.6	1/4	
2次SD9 (22図)							
241	黑色	坏	18.0	9.4	6.0	1/2	底へラケズリ
2次SD10 (22図)							
242	須恵	坏	12.6	6.3	3.5	1/3	



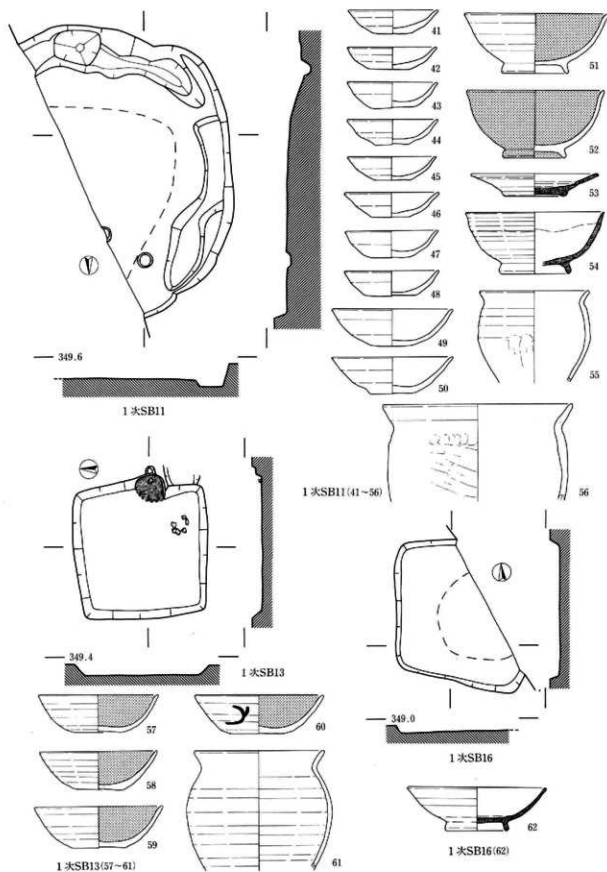
第6圖 1次 1・2・4・5号住居址・出土土器実測圖



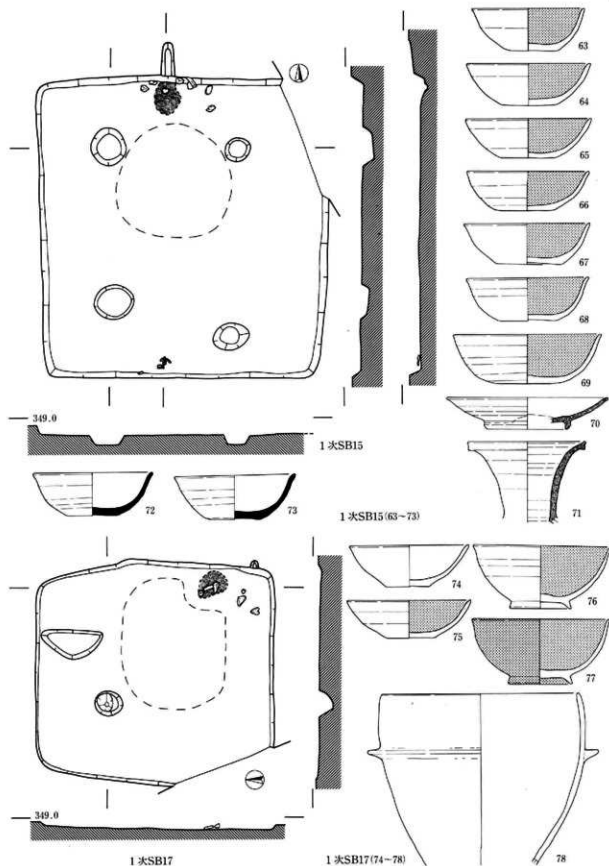
第7图 1次 3・6・8号住居址・出土土器実測図



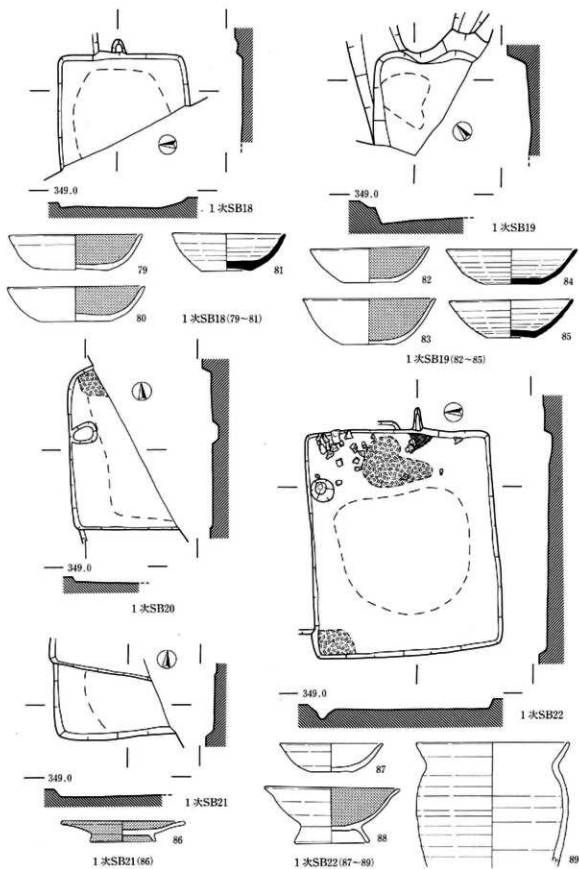
第8图 1次 7·9·10·12·14号住居址·出土土器実測图



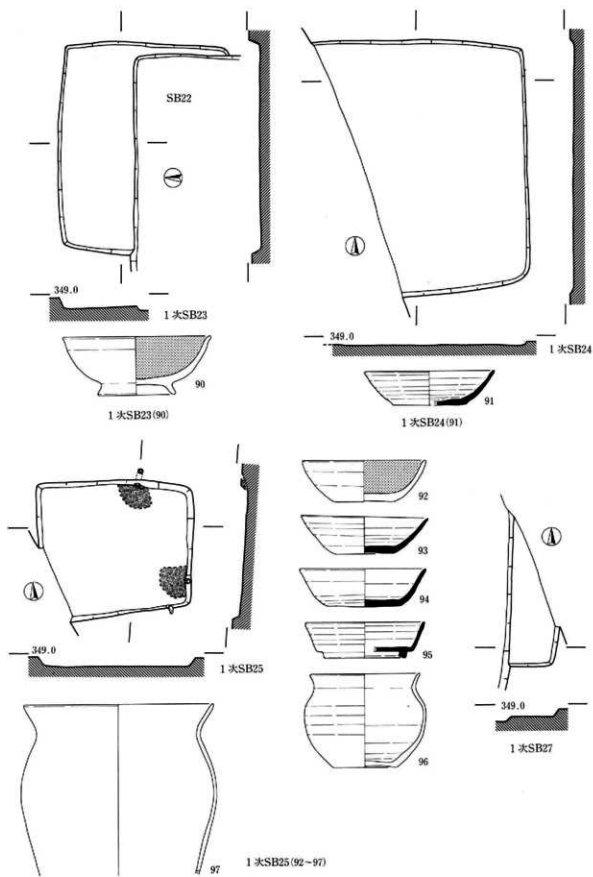
第9图 1次 11·13·16号住居址·出土土器实测图



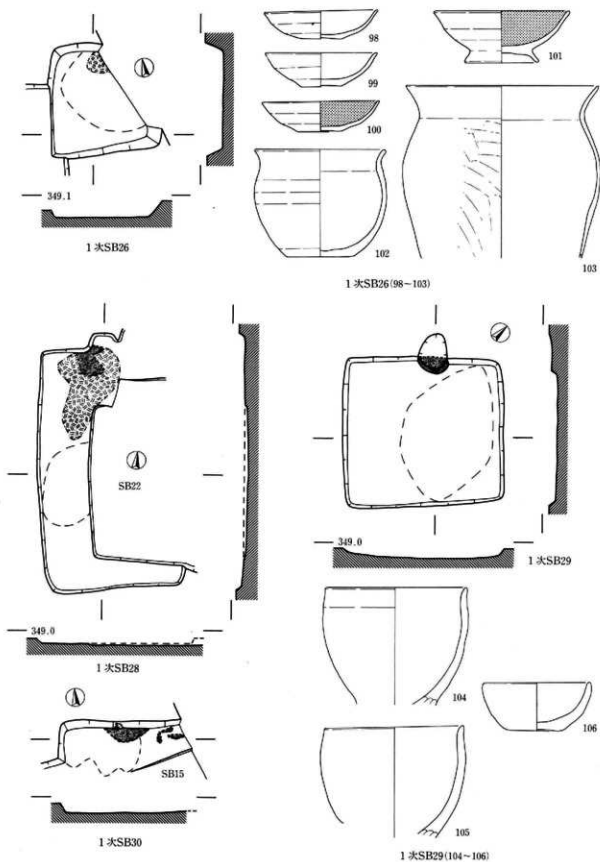
第10图 1次 15·17号住居址·出土土器実測図



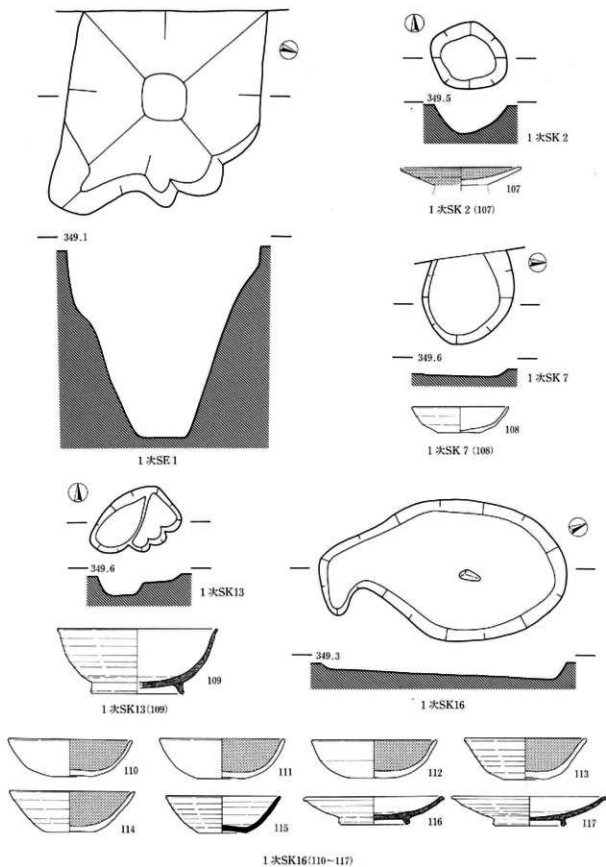
第11图 1次 18-22号住居址・出土土器实测图



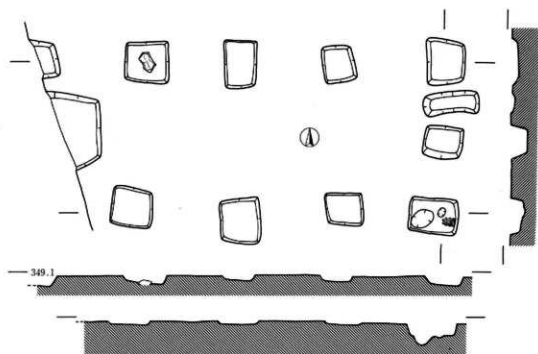
第12图 1次 23~25・27号住居址・出土土器実測図



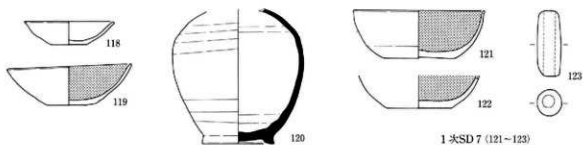
第13图 1次 26・28~30号住居址・出土土器実測図



第14图 1次 1号井戸址、2・7・13・16号土坑・出土土器実測図

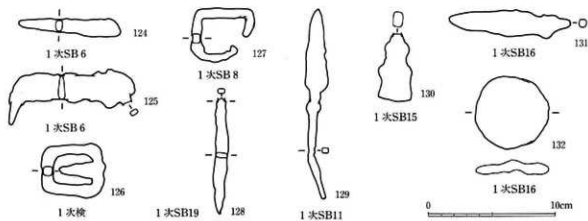


1次ST 1

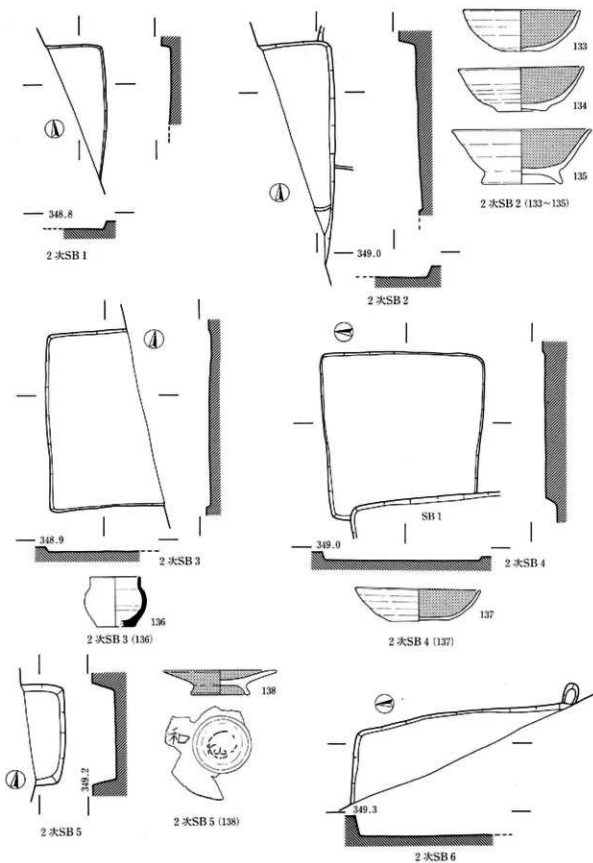


1次SD 6 (118~120)

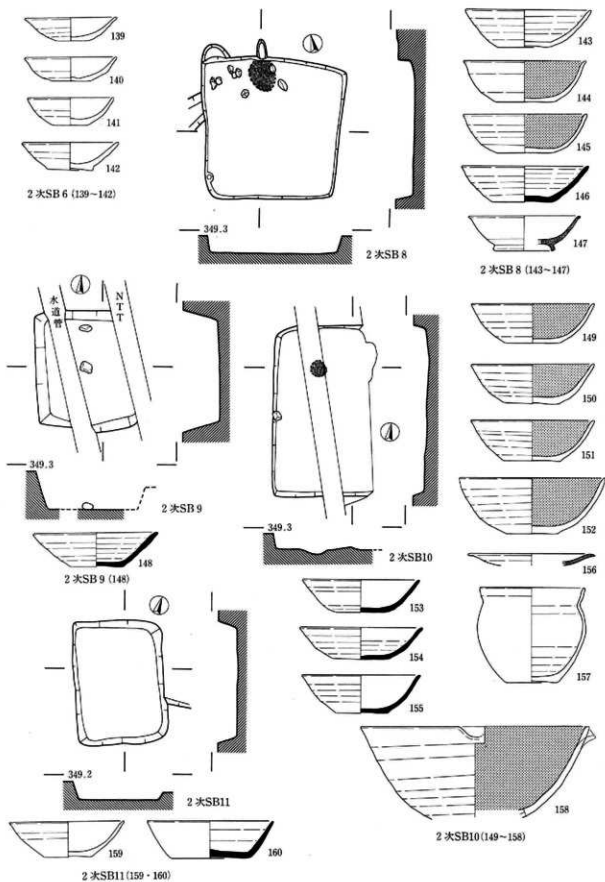
1次SD 7 (121~123)



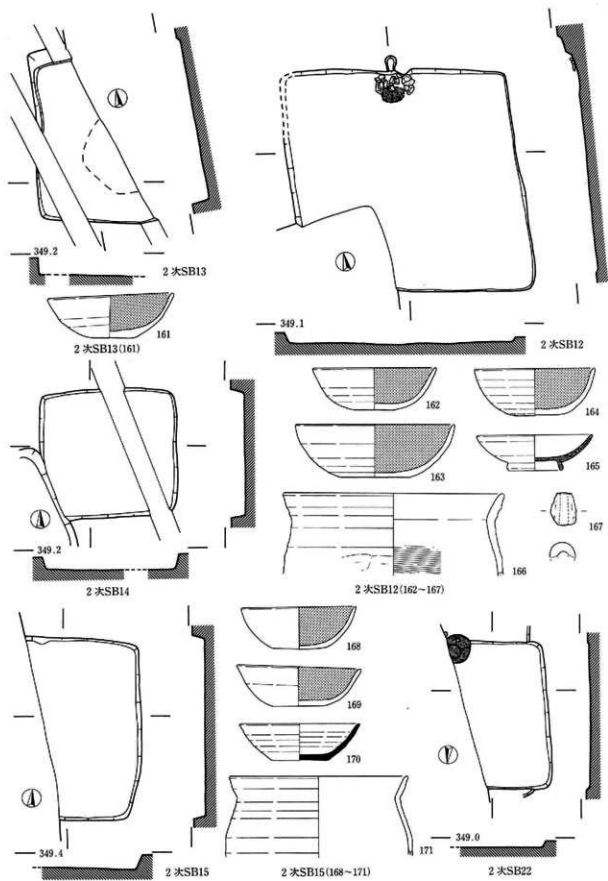
第15图 1次 1号建物址、6・7号溝址・出土土器実測図、金属製品実測図



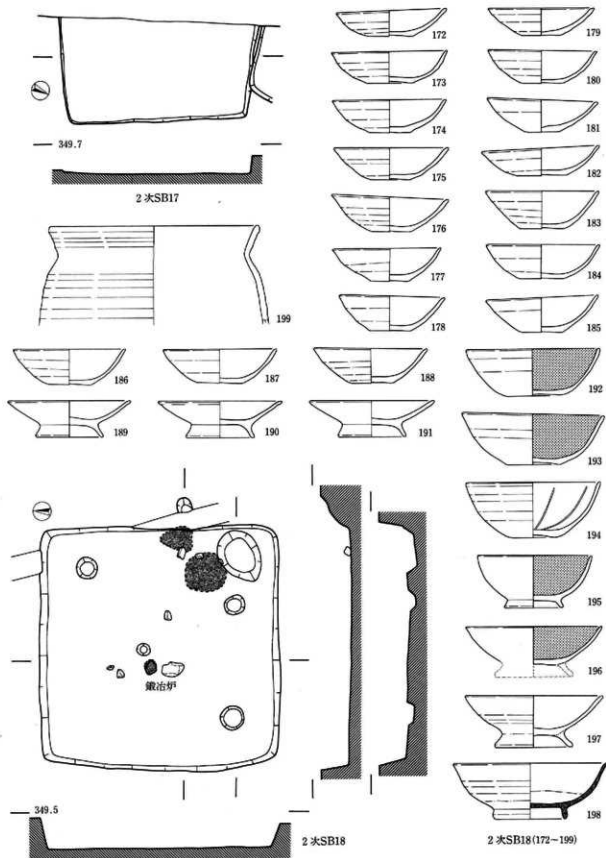
第16图 2次 1~6号住居址・出土土器実測図



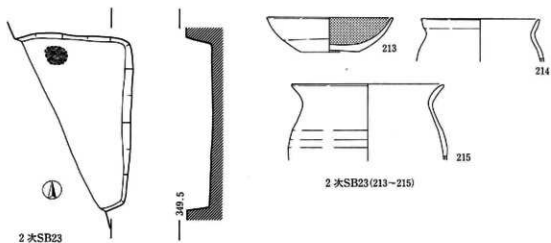
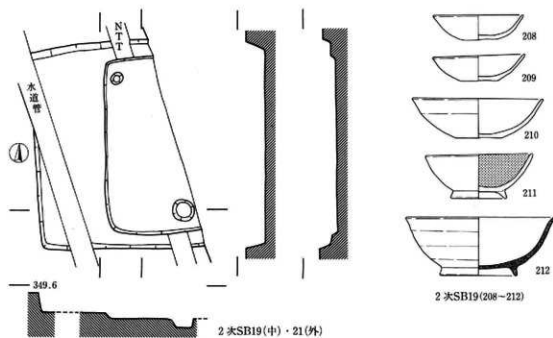
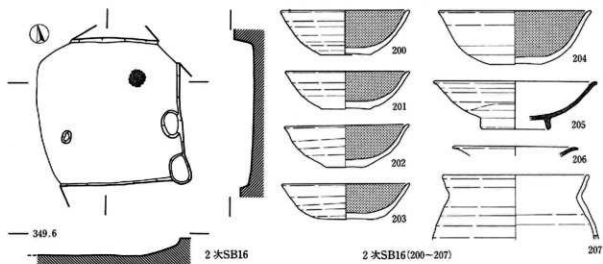
第17图 2次 8~11号住居址・出土土器実測图



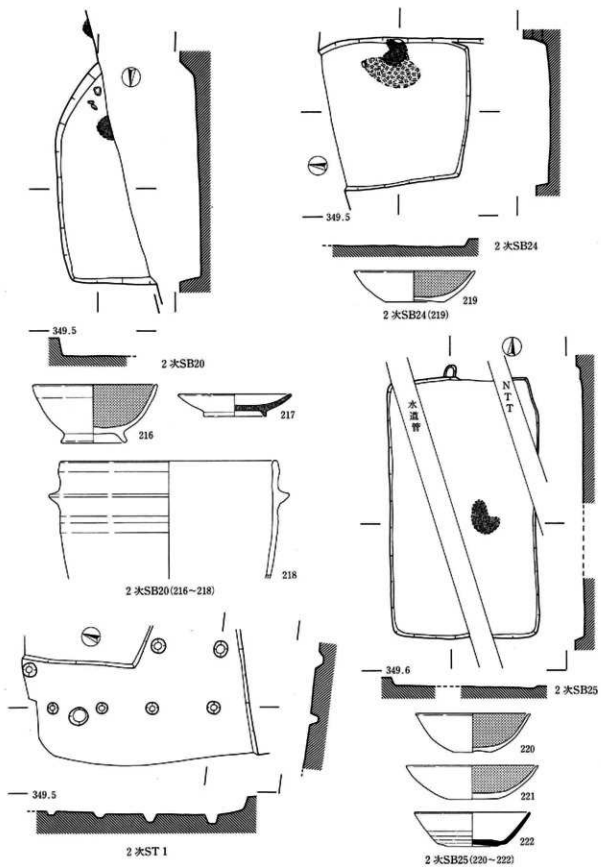
第18图 2次 12~15·22号住居址·出土土器実測図



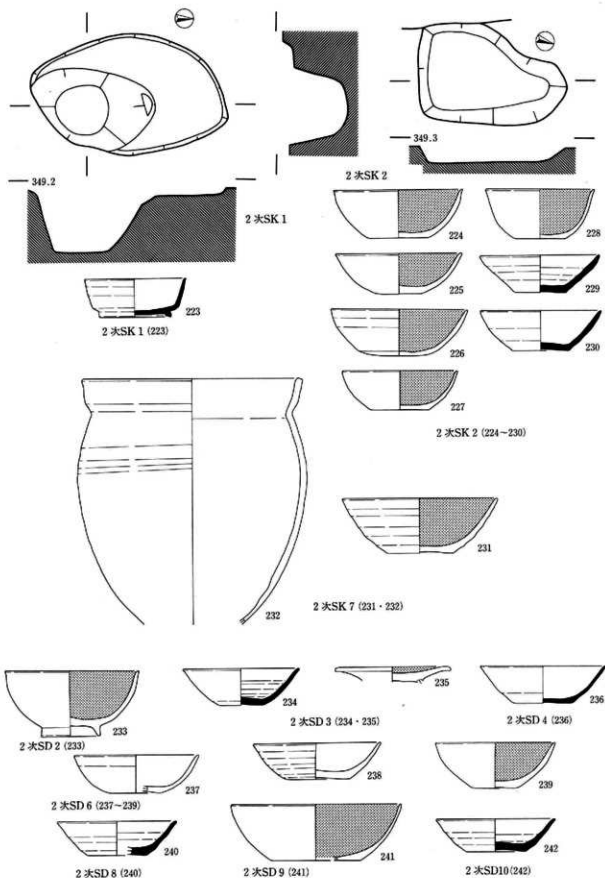
第19图 2次 17·18号住居址·出土土器実測图



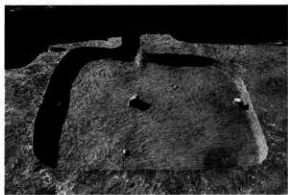
第20図 2次 16・19・21・23号住居址・出土土器実測図



第21図 2次 20・24・25号住居址・1号建物址・出土土器実測図



第22图 2次 1・2・27号土坑・出土土器実測図、溝址出土土器実測図



1次1号住居址



1次6号住居址



1次2号住居址



1次7号住居址



1次4号住居址



1次7号住居址内鍛冶炉



1次5号住居址



1次8号住居址



1次9号住居址



1次15号住居址



1次10号住居址



1次16号住居址



1次11号住居址



1次17号住居址



1次14号住居址付近



1次18号住居址



1次19号住居址



1次26号住居址



1次22号住居址



1次27号住居址



1次22号(右)・23号(左)住居址



1次28号住居址



1次25号住居址



1次29号住居址



1次30号住居址



1次検出作業



1次25号土坑



1次作業風景



1次1号井戸址



1次作業風景



1次北側全域



1次参加者



2次1号住居址



2次5号住居址



2次2号住居址



2次6号住居址



2次3号住居址



2次8号住居址



2次4号住居址



2次10号住居址



2次12号住居址



2次15号住居址



2次12号住居址カマド



2次16号住居址



2次13号住居址



2次17号住居址



2次14号住居址



2次18号住居址



2次19号住居址



2次23号住居址



2次20号住居址



2次24号住居址



2次19号(右)・21号(左)住居址



2次25号住居址



2次22号住居址



2次1号土坑



2次2号土坑



2次6号溝址付近



2次3号溝址



2次南側全城北から望む



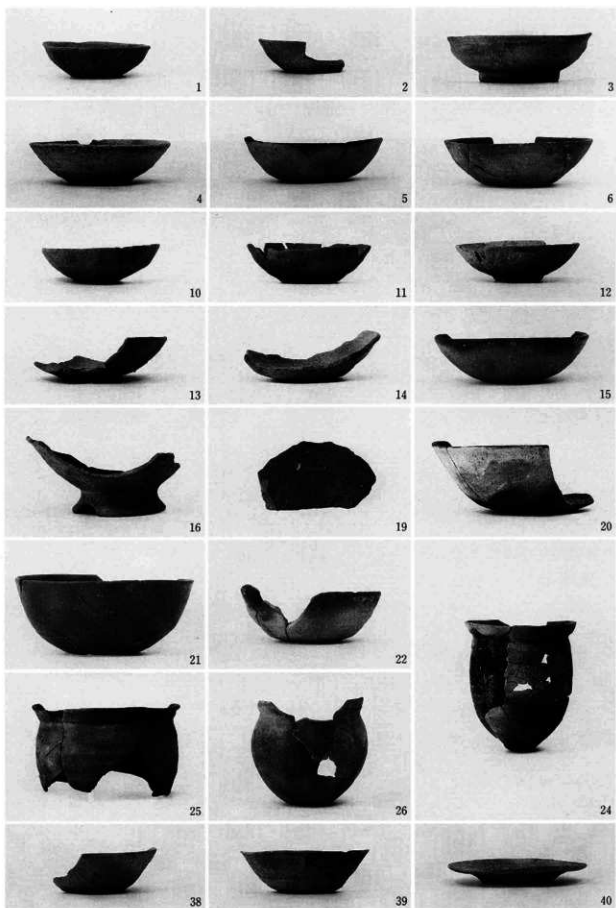
2次作業風景

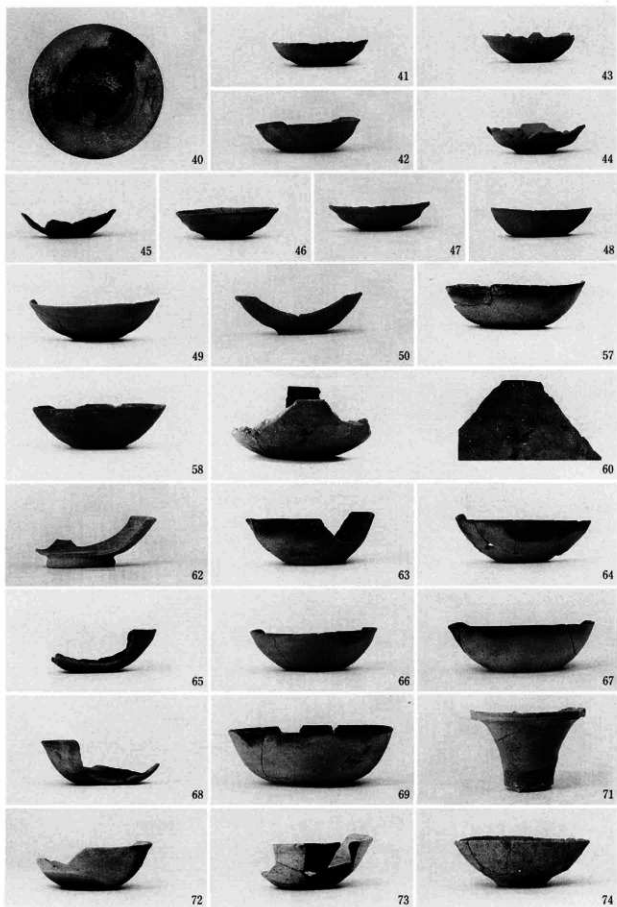


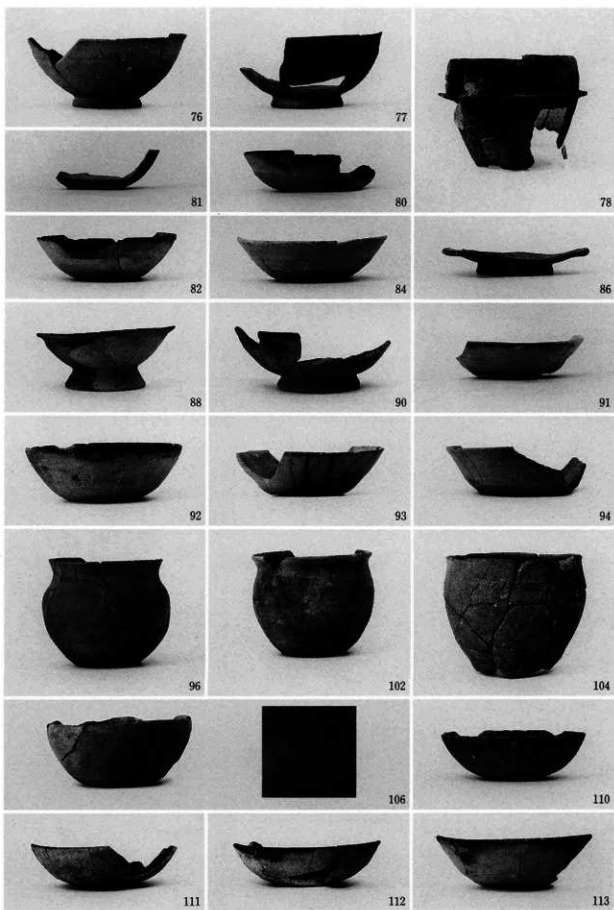
2次4号溝址

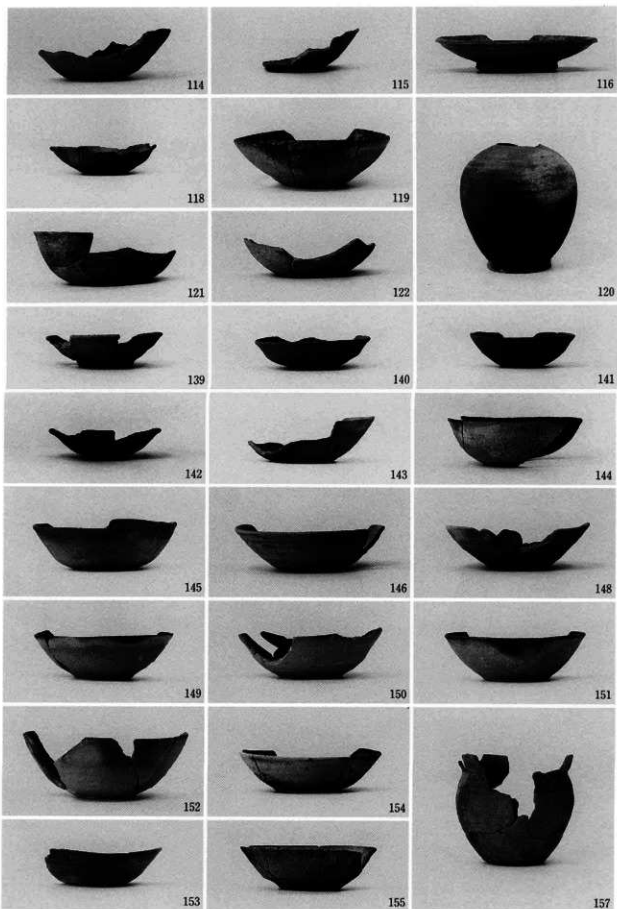


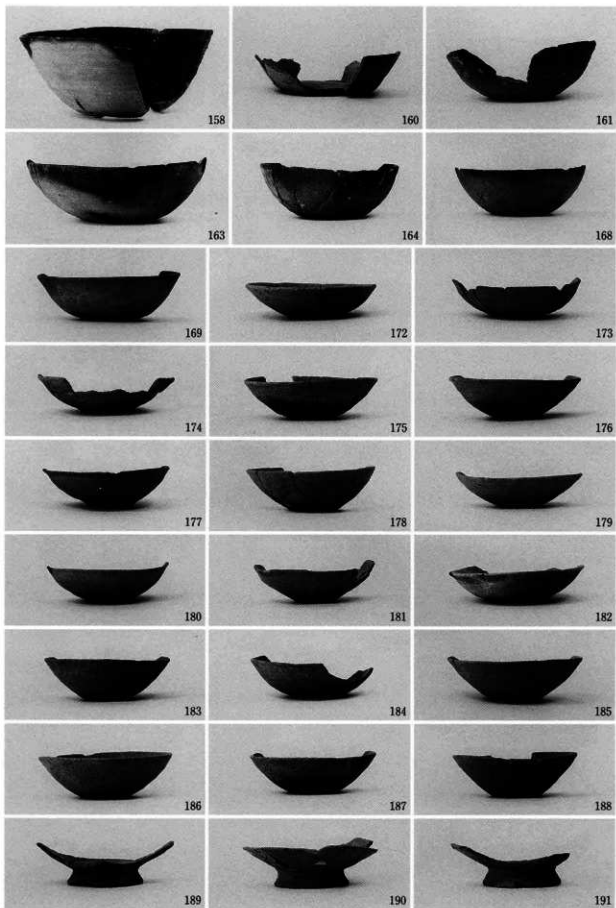
2次参加者

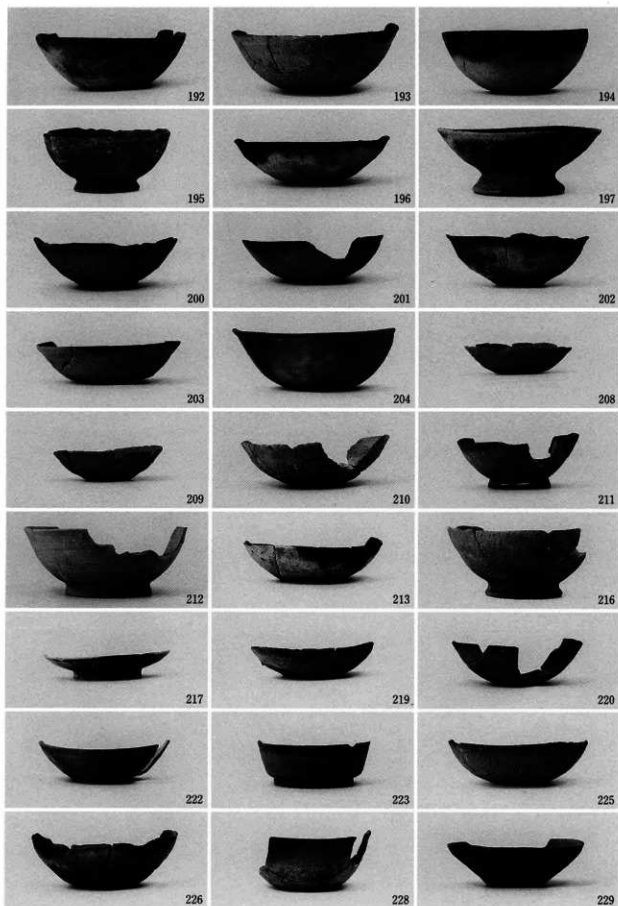




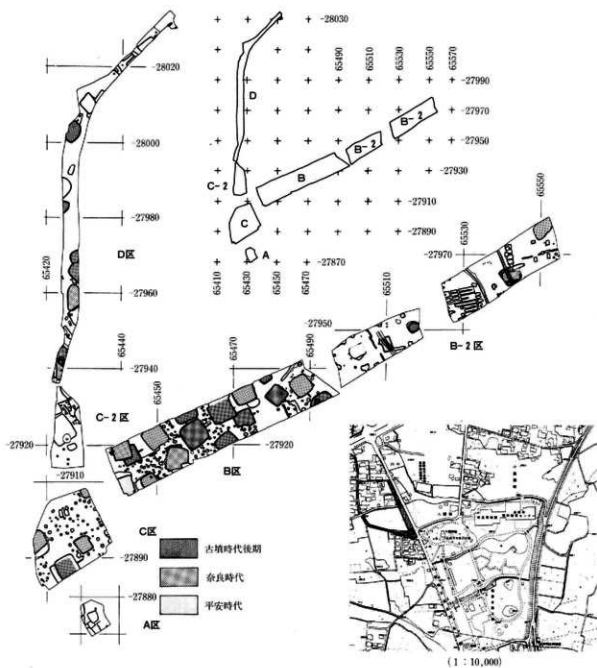








第4章 田中沖遺跡Ⅲ



第23図 調査地及び遺構分布図 (1:1,000)

第1節 検出遺構の概要（遺構観察表）

遺構名	図番号	時代	形態	規模(m)	主軸方向	内部施設等	遺物の概要
A区							
1号住居址	25	?	?			ASK2・4と重複	土師甕
2号住居址	25	?	?		N32°W	南壁カマド	
3号住居址	25	?	隅丸方形?	2.5×2.8		ASK4と重複	
B区							
1号住居址	25	平安	?	×4.68	N17°W	北壁カマド、ASB4と重複	砥石、弓引金、土師甕
2号住居址	26	奈良	?	4.5×	N25°W	北壁カマド2、BSB12と重複	土師環・甕
3号住居址	25	奈良	?	5.0×	N15°W	北壁カマド、BSB11と重複	鎌、土師甕、須恵環・高台環
4号住居址	25	?	?			BSB1と重複	
5号住居址	26	奈良	方形		N37°W	北壁カマド、BSB8と重複	黑色高環、土師甕、須恵環・甕
6号住居址	27	古墳後期	隅丸方形	6.65×6.74	N36°W	北壁カマド	黑色環、土師高環・台付環・甕
7号住居址	29	古墳後期	隅丸方形?	5.6×			土師甕（木製板）
9号住居址	28	古墳後期	長方形	6.3×4.9	N23°W	北壁カマド、BSB19と重複	鎌、黑色環・高環・鉢、土師甕・長胴甕・円筒形土器、須恵環は混入
10号住居址	29	奈良	?	6.17×	N22°W	北壁カマド、BSK16と重複	四石、土師長胴甕・甕（割書）、須恵環・甕
11号住居址	30	古墳後期	方形	4.62×4.93	N26°W	北壁カマド、柱穴2、BSB3・8と重複	黑色環（へら記号）、土師環（へら記号）・小形甕
12号住居址	26	?	?			BSB2と重複	
13号住居址	27	古墳後期	?	6.2×			黑色環、土師甕
14号住居址	31	古墳後期	?	3.32×			黑色環、土師環・甕、須恵環身
15号住居址	30	古墳後期	?	6.0×		SK13内包	黑色高環
16号住居址	33	奈良	隅丸方形?	6.0×6.42		BSB18・21と重複	鎌?、須恵環（へら記号）、土師甕
17号住居址	30	古墳後期	隅丸方形	4.86×4.68	N53°W	北壁カマド、焼失住居	黑色環、土師甕
18号住居址	33	古墳後期?				BSB16・21と重複	黑色環、土師環・鉢・甕
19号住居址	31	古墳後期	不整形	5.1×4.65	N25°W	北壁カマド、BSB9と重複	黑色環、土師環・甕
20号住居址	33	奈良	隅丸方形	5.5×5.14	N47°E	北壁・東壁カマド	土師台付鉢・長胴甕、須恵環
21号住居址	33	奈良?	?			BSB16・18と重複	土師長胴甕
B-2区							
1号住居址	34	平安	隅丸長方形	2.68×4.1	N59°W		黑色環、土師環・甕、灰積板
2号住居址	33	?	隅丸長方形	4.0×3.22	N65°W	南壁カマド、B2SB4と重複	
3号住居址	33	?	?			B2SK5と重複	
4号住居址	33	?	?			B2SB2が重複	

遺構名	図番号	時代	形態	規模(m)	主軸方向	内部施設等	遺物の概要
5号住居址	34	奈良	長方形	4.72×2.72		B2SB6・B2SD9と重複	凹石、土師環・蓋
6号住居址	34	古墳後期	不整形	4.66×4.75		B2SB5・B2SD9・B2SK22と重複	土師甕
7号住居址	35	奈良	不整形	5.6×4.0			土師皿・甕・瓶、須恵環・甕
1号壘穴状遺構	35	古墳後期	不整形	×3.14			土師高環・甕・小形甕
C区							
1号住居址	36	古墳後期?	?				土師甕(木葉痕)
2号住居址	35	古墳後期	方形	3.66×4.34	N27°W	北壁カマド	黒色環・土師環(木葉痕)・台付鉢
3号住居址	36	古墳後期	方形?	5.8×	N35°W	北壁カマド、CSB5・CSX1と重複	土師環(木葉痕)・台付鉢
4号住居址	36	奈良	?	×4.6		北壁カマド、CSB6と重複	土師長胴甕、須恵環・高台環(ヘラ記号)・蓋・甕
6号住居址	37	古墳後期	?		N13°W	北壁カマド	刀子、黒色環・高環、須恵環
1号壘穴状遺構	37	?				CSB3・5と重複	
C-2区							
1号住居址	38	?	?		N55°W	南壁カマド	
2号住居址	38	?	?			C2SB5と重複	
3号住居址	38	?	?		N30°W	北壁カマド	
4号住居址	38	?	隅丸方形	6.36×6.8	N33°W	北壁カマド、C2SK5と重複	
5号住居址	38	?	?			C2SB2と重複	
D区							
1号住居址	39	?	?			DSK1と重複	
2号住居址	39	奈良	不整形	×6.8	南北	北壁カマド	宇引釜、土師鉢・甕、須恵環・蓋
3号住居址	39	古墳後期	?			DSB4・DSK4と重複	黒色高環、土師甕
4号住居址	39	古墳後期	?			DSB3と重複	黒色環
5号住居址	40	古墳後期	?	×3.46			黒色高環
6号住居址	40	?	?				
8号住居址	40	古墳後期	?	7.4×	N63°W	北壁カマド	土師環・甕
9号住居址	40	?	方形	3.76×4.16	N45°W	北壁カマド	
10号住居址	40	?	?	4.62×	N50°W	北壁カマド	
11号住居址	41	?	?			DSD2と重複	
12号住居址	41	?	?			DSD2と重複	
13号住居址	41	古墳後期	?	4.18×		DSB14と重複	黒色環
14号住居址	41	奈良?	?	×3.95		DSB13と重複	須恵高台環

第2節 出土遺物の概要（遺物観察表）

番号	種別	器種	法量 (cm)			遺存	調整等
			口径	底径	器高		
BSB1 (25図)							
1	土師	甕	22.2			1/3	口縁：横ナデ 胴：ヘラケズリ
BSB2 (26図)							
2	須恵	坏	13.0	8.6	3.7	1/5	底：ヘラケズリ
3	須恵	坏	14.0	7.0	3.0	1/6	底：ヘラケズリ
4	須恵	高台坏	13.4	9.6	3.3	1/6	底：回転ヘラケズリ
5	土師	甕	21.0			1/4	口縁：横ナデ 胴：ヘラケズリ
BSB3 (25図)							
6	土師	坏	12.4	7.2	6.2	1/3	外：ヘラミガキ？ 内：横ヘラミガキ
7	土師	甕	21.7			1/4	口縁：横ナデ 胴：縦ハケ
BSB5 (26図)							
8	須恵	壺		11.0		4/5	底：ヘラケズリ
9	土師	甕	23.0			1/3	内外：縦ヘラケズリ
10	土師	甕	18.0			1/3	口縁：横ナデ 胴：縦ヘラケズリ
11	黒色	高坏	13.9			2/3	内外：ヘラミガキ
12	須恵	坏	13.8	5.3	4.3	4/5	底：ヘラケズリ
13	須恵	坏	14.5	9.2	4.6	1/5	
14	須恵	坏	12.4	8.0	3.8	1/4	底：ヘラケズリ
15	須恵	坏	13.7	8.0	4.1	1/2	底：ヘラケズリ
BSB6 (27図)							
16	黒色	坏	13.0	丸底	4.8	2/3	外：ヘラミガキ？ 内：横ヘラミガキ
17	土師	高坏	13.2	9.0	8.8	1/3	
18	土師	台付坏		7.9		1/2	
19	土師	台付坏	8.7	6.7	11.8	完	外：ハケ？ 内： 横ハケ→縦ヘラミガキ
20	土師	甕？		8.4		1/2	外：ヘラミガキ 底：ヘラミガキ
21	土師	甕	15.4	5.0	11.4	4/5	外：縦ヘラミガキ 内：ヘラミガキ 底：穿孔5
BSB11 (27図)							
22	黒色	坏	9.4	4.4	4.3	完	底：ヘラナデ？ 内：ヘラミガキ
23	黒色	坏	11.3	丸底	4.0	1/3	内外：ヘラミガキ 底：ヘラミガキ？
BSB7 (29図)							
40	土師	甕		9.8		ママ	外：ヘラケズリ 底：木葉痕
BSB10 (29図)							
41	須恵	甕				ママ	
42	須恵	坏	14.4	7.6	4.2	1/2	底：ヘラケズリ
43	土師	高坏		8.5		ママ	内外：縦ヘラミガキ 脚内：ハケ？
44	土師	甕		5.0		ママ	底：刻書
45	土師	長胴甕				1/3	
BSB11 (30図)							
46	土師	坏	12.7	4.3	3.3	1/2	内：ヘラミガキ 底：ヘラ記号
47	黒色	坏	12.0	5.5	3.6	7/8	内外：ヘラミガキ 底：ヘラ記号
48	土師	甕	13.6	5.5	11.4	完	胴上：縦ハケ？ 胴下：ヘラケズリ？ 内：横ハケ

番号	種別	器種	法量 (cm)			遺存	調整等
			口径	底径	器高		
49	土師	甕		7.1		ママ	外：縦ハケ 底：木葉痕
50	土師	甕	21.0			1/3	外：縦ハケ 内：横ハケ
BSB15 (30区)							
51	黒色	高環	11.2	6.8	7.7	1/3	内外：ヘラミガキ 脚内：横ハケ?
BSB17 (30区)							
52	黒色	環	15.6	6.5	6.9	完	内外：ハケ→ヘラ 底：ヘラミガキ
53	黒色	環	13.9	3.5	5.2	完	外：縦ハケ? 内：ハケ→ヘラ
54	土師	瓶	14.1	2.4	8.6	完	胴上：縦ハケ 胴 下：ヘラミガキ 底：穿孔1
BSB14 (31区)							
55	土師	環	16.2	9.8	4.1	完	外：ハケ→ヘラ 内：ヘラミガキ 底：ヘラミガキ?
56	黒色	環	15.9	9.6	3.8	完	全：ヘラミガキ
57	黒色	環	15.6	9.4	4.0	4/5	全：ヘラミガキ
58	須恵	環	11.4	丸底	4.4	7/8	回転ヘラケズリ 底：ヘラ記号
59	黒色	高環		10.0		2/3	外：ハケ 内：縦 ナデ
60	土師	環	16.6	8.6	3.8	2/3	全：ヘラミガキ
61	土師	甕	16.2			1/2	外：縦ハケ 内： ハケ→ヘラミガキ
62	土師	甕	20.2			3/4	外：ハケ→ヘラ 内：ハケ
63	土師	甕		7.0		1/4	外：ヘラミガキ 内：ハケ
BSB19 (31区)							
64	黒色	環	15.6	7.8	3.7	4/5	外：アレ 内：ヘ ラミガキ
65	黒色	環	18.0	8.6	4.5	1/2	全：ヘラミガキ
66	黒色?	環	14.2	8.8	5.6	3/4	外：アレ 内：ヘ ラミガキ?
67	土師	甕		7.7		1/3	全：アレ
BSB16 (33区)							
68	須恵	環	15.0	7.4	3.8	1/4	底：回転ヘラケズリ ヘラ記号
69	土師	甕		7.6		ママ	外：縦ハケ
BSB18 (33区)							
70	黒色?	環	14.5	3.2	4.6	1/2	内外：ヘラミガキ 底：ナデ

番号	種別	器種	法量 (cm)			遺存	調整等
			口径	底径	器高		
71	黒色	環	15.3	9.2	3.6	1/4	外：アレ 内：ヘ ラミガキ
72	黒色	鉢	13.0		11.4	3/4	内：ハケ→斜めヘ ラミガキ
BSB20 (33区)							
73	土師	瓶	24.6	9.1	30.0	3/4	外：縦ヘラケズリ
74	須恵	環	9.0	6.9	3.6	1/5	
75	土師	高台環		8.2		2/3	アレ
76	土師	甕	25.0	8.4	36.2	1/2	外：縦ハケ
77	土師	甕	20.0			1/3	外：縦ハケ
BSB21 (33区)							
78	土師	甕	20.0			3/4	外：縦ハケ 内： ハケ
B-2SB1 (34区)							
79	土師	環	18.2	7.2	5.6	1/4	
80	黒色	環	14.4	5.4	5.1	1/3	内：ヘラミガキ 底：ヘラケズリ
81	灰釉	碗	14.3	6.6	3.9	1/7	底：回転ヘラケズリ
82	土師	甕	13.0			1/4	
83	土師	甕	23.3			1/6	
B-2SB5 (34区)							
84	黒色?	蓋	2.4	14.4	5.4	1/2	内外：ヘラミガキ
85	土師	環	15.2			1/2	外：横ヘラミガキ 内：縦ヘラミガキ
86	土師	環	14.4	丸底	4.8	2/3	外：縦ヘラミガキ 内：ヘラミガキ
87	土師	環	16.4	丸底	5.0	3/4	内外：ヘラミガキ
B-2SB6 (34区)							
88	土師	甕	16.8			1/3	外：ハケ→ヘラミ ガキ? 内：ハケ
B-2SB7 (35区)							
89	須恵	環	14.9	8.6	3.5	1/3	
90	土師	皿	9.0	5.0	1.7	2/3	
91	土師	甕		7.8		1/3	内：ハケ
92	土師	瓶		6.5		1/4	底：穿孔10
93	須恵	甕	25.2			?	
B-2SX1 (35区)							
94	土師	甕	13.3	7.8?	12.7	1/2	内外：ハケ
95	土師	甕	18.0			ママ	外：ヘラミガキ 内：ハケ
96	土師	甕		9.4		1/2	内外：アレ
97	土師	高環		12.2		1/2	内外：ヘラミガキ

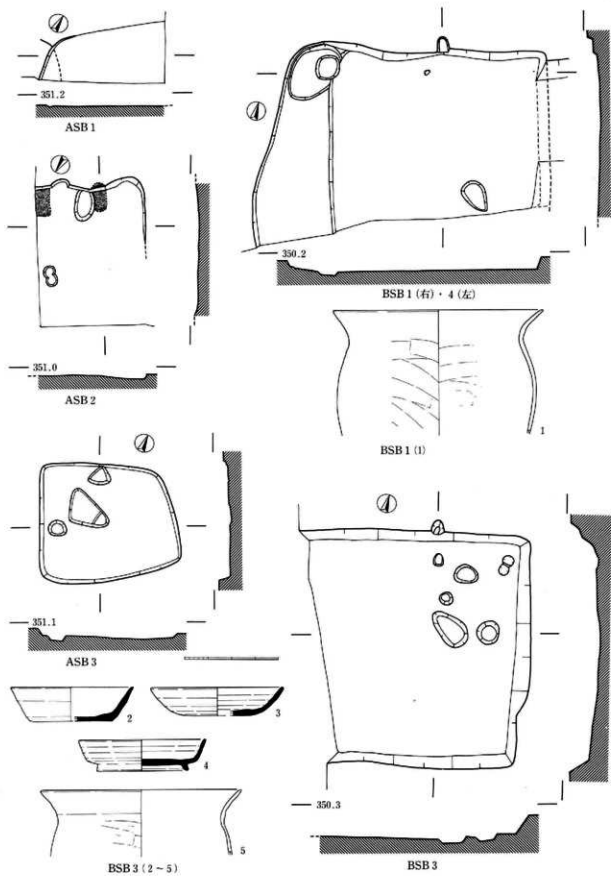
番号	種別	器種	法量 (cm)			遺存	調整等
			口径	底径	器高		
CSB1(35図)							
98	土師	坏	9.7	2.4	3.1	1/3	底：ヘラ記号
99	土師	坏	14.9	9.0	4.8	1/4	内外：横ヘラミガキ
100	黒色	坏	11.8	4.0	4.3	1/2	
101	土師	甕	18.8			1/4	外：ハケ
102	土師	台付鉢	6.5			ママ	底：木葉痕
103	土師	甕	7.6			7/8	底：木葉痕
CSB1(36図)							
104	土師	甕	7.0			1/2	底：木葉痕
CSB2(36図)							
105	土師	坏	12.4	7.2	4.4	1/2	内：横ヘラミガキ 底：ヘラ記号
106	土師	台付鉢	8.4	9.4	12.6	1/6	底：木葉痕
CSB4(36, 37図)							
107	須恵	坏	13.0	7.0	3.5	1/2	底：ヘラケズリ
108	須恵	坏	14.0	7.7	4.1	1/4	底：貼付 平行圧痕
109	須恵	高台坏	14.2	9.6	4.3	1/4	底：回転ヘラケズリ
110	須恵	高台坏	9.3	5.8	4.6	1/4	底：ヘラ記号
111	須恵	蓋	4.0			ママ	
112	土師	坏?	13.6			1/2	内外：アレ ハケ
113	土師	長胴甕	17.0			1/2	内外：アレ ハケ
114	土師	長胴甕	22.4	7.0	36.6	4/5	内外：ハケ
115	土師	長胴甕	18.1			1/3	内外：ハケ
116	土師	長胴甕	23.0			2/3	内外：アレ ハケ
117	土師	甕	12.0	6.0	14.3	3/4	外：ヘラミガキ? 内：横ヘラミガキ
118	須恵	甕	17.0			1/3	外：クタクキ 内：押し指痕
119	土師	瓶?	20.0			1/3	内外：アレ ハケ

鉄製品・石製品 (41図)

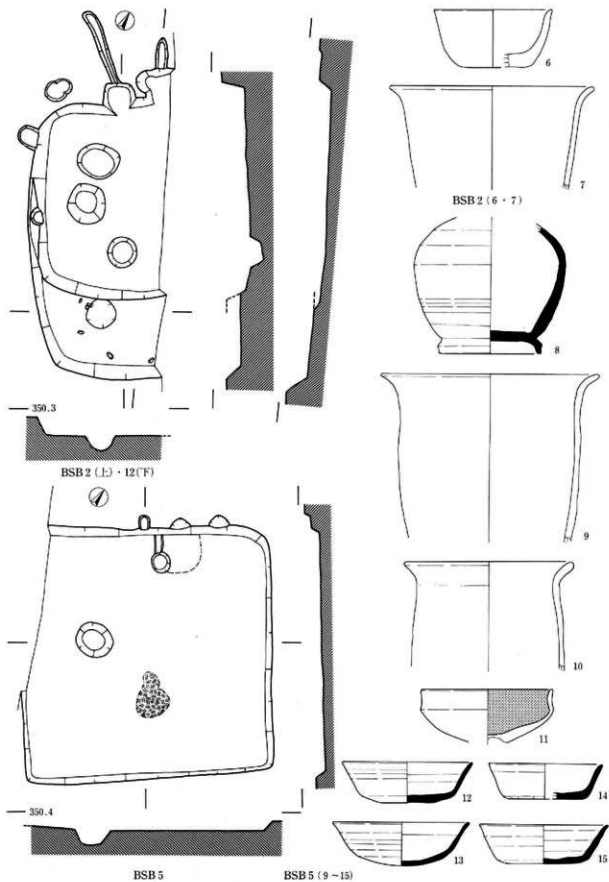
番号	種別	名称	法量等(cm)
139	鉄製品	?	
140	鉄製品	芋引金	幅1.4
141	鉄製品	鎌?	幅2.6~3.1
142	鉄製品	?	長6.3・幅1.2
143	鉄製品	?	長8.1・幅1.0
144	鉄製品	?	
145	鉄製品	鎌	直線長13.0・基部幅2.9・刃部幅2.0

番号	種別	器種	法量 (cm)			遺存	調整等
			口径	底径	器高		
CSB6(37図)							
120	黒色	坏	13.0	3.0	3.7	1/3	内：ヘラミガキ 底：ヘラケズリ?
121	須恵	坏	12.6	8.3	3.4	1/3	底：手持回転ヘラケズリ
122	黒色	高坏	11.0			3/4	
DSB4(39図)							
123	黒色	坏	12.8	3.0	5.0	1/2	内外：ヘラミガキ
124	黒色	坏	15.6	5.8	5.3	2/3	内外：ヘラミガキ
125	土師	甕	8.0			4/5	外：縦ヘラケズリ 内：ハケ
126	土師	甕	13.0	7.0	12.1	4/5	外：縦ハケ 内：横ハケ 底：ハケ
127	土師	鉢?	19.0			1/2	外：縦ヘラケズリ 内：ナデ?
128	須恵	坏	14.3	4.0	4.4	1/3	
129	須恵	坏	12.4	6.3	3.4	1/3	内外：火グスキ
130	須恵	蓋	3.7			ママ	
DSB2(39図)							
131	高坏		9.9			ママ	
132	土師	甕	7.9			ママ	底：木葉痕
133	土師	甕	8.5			1/2	内外：ハケ
DSB5(40図)							
134	黒色	高坏	11.4			1/3	内内：ヘラミガキ 脚内：縦ハケ
DSB8(40図)							
135	土師	坏	8.5	6.0	3.5	1/2	内外：アレ
136	土師	甕	5.8			1/3	外：縦ハケ 内：横ハケ
DSB13(41図)							
137	黒色	坏	12.8	丸底	6.0	7/8	内外：ヘラミガキ
DSB14(41図)							
138	須恵	高台付坏	10.0			1/3	硬質 底：回転ヘラケズリ

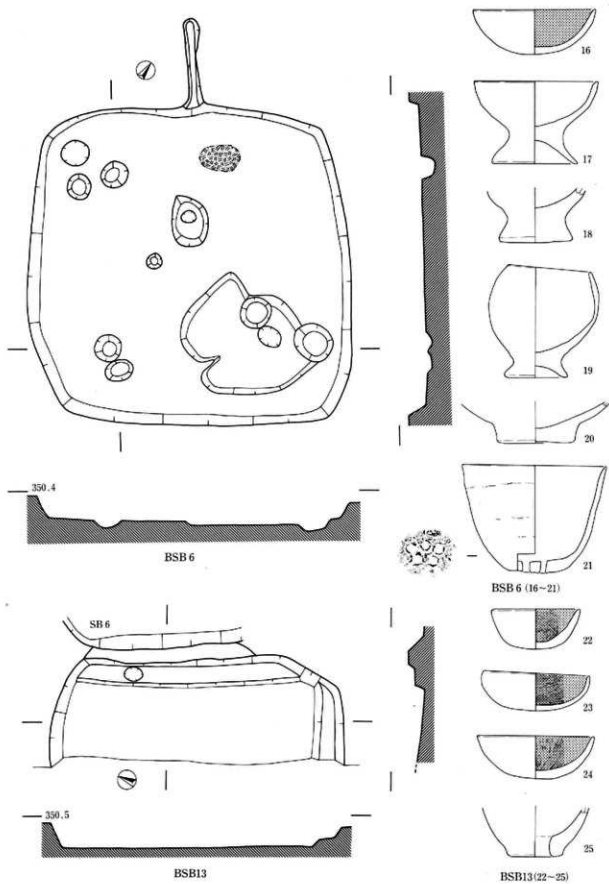
146	鉄製品	?	
147	鉄製品	鎌?	直線長8.7・基部幅3.1・刃部幅2.6
148	鉄製品	刀子	刃部幅0.9
149	鉄製品	?	
150	鉄製品	芋引金	長9.5・幅1.3
151	鉄製品	大釘	長12.8・幅2.6
152	流紋岩	礫石	長15.5
153	安山岩	凹石	長15.1~16.2・厚9.8・凹部長9.6・深3.9
154	安山岩	凹石	長16.5~20.7・厚8.2・凹部長12.3・深6.4



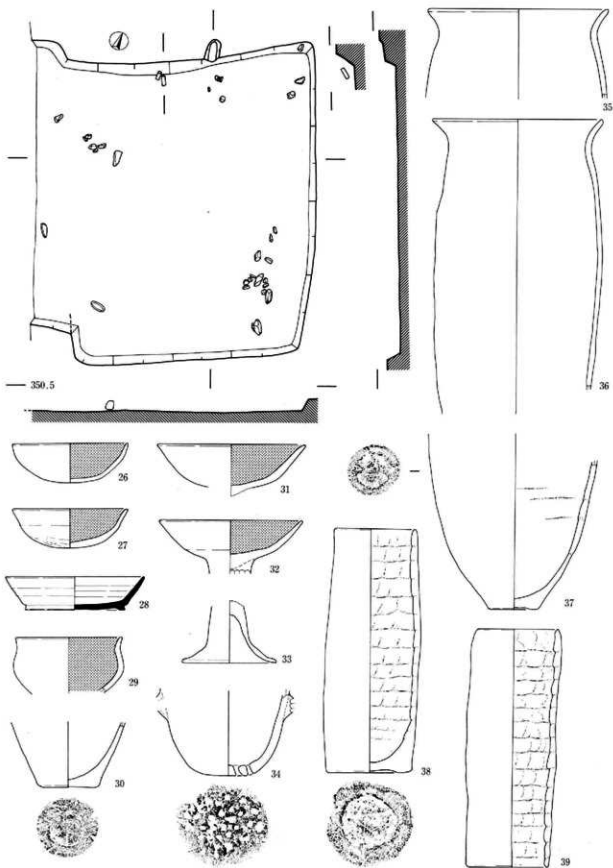
第25图 A区1~3号住居址实测图、B区1·3·4号住居址·出土土器实测图



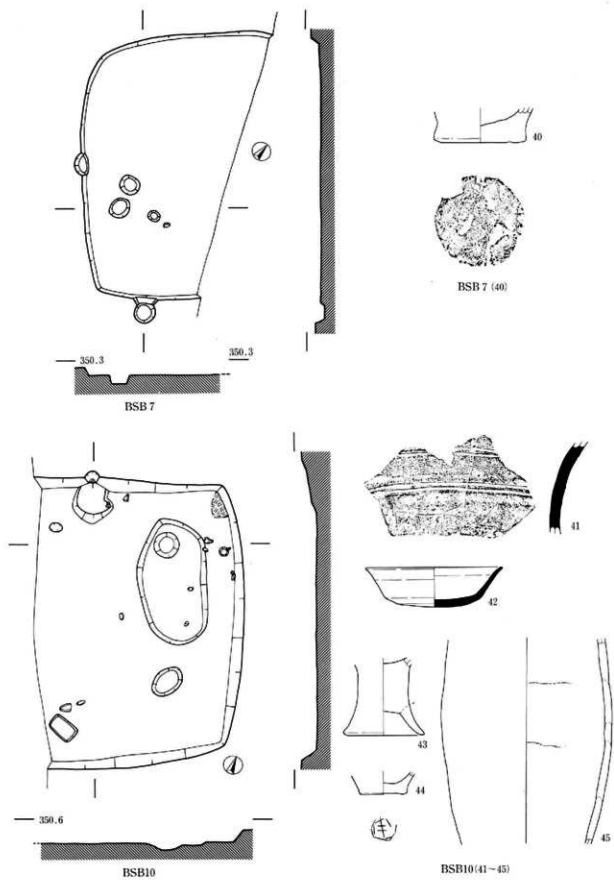
第26图 B区2·5·12号住居址·出土土器实测图



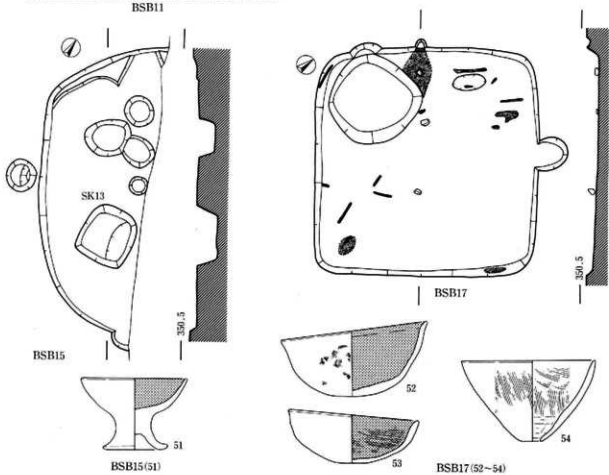
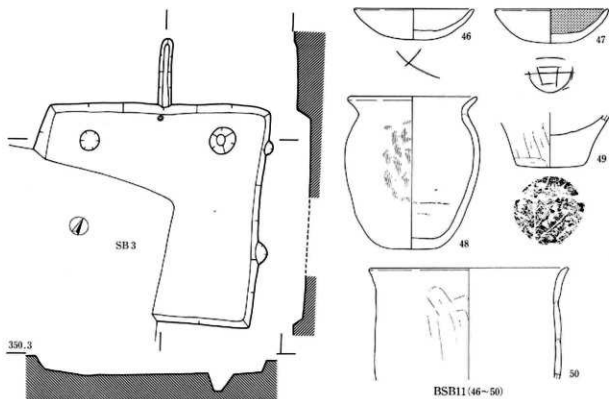
第27图 B区6·13号住居址·出土土器实测图



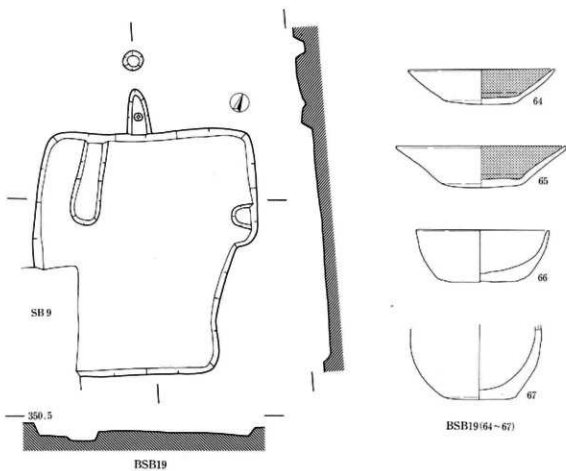
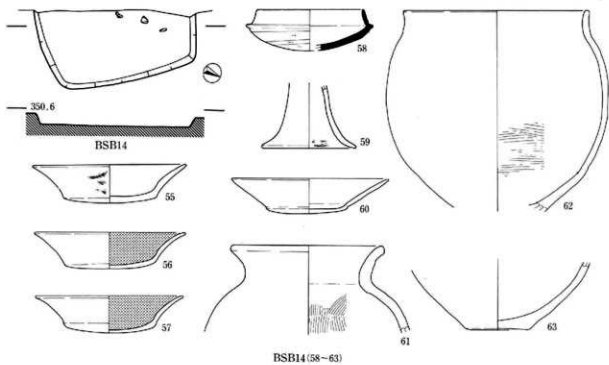
第28图 B区9号住居址·出土土器夹测图



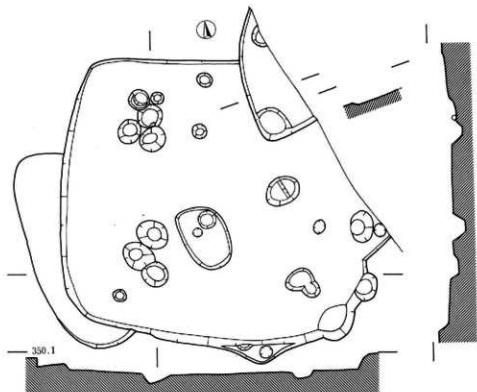
第29图 B区7·10号住居址·出土土器实测图



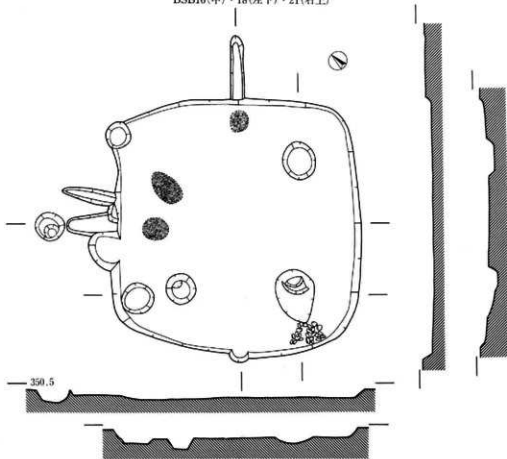
第30图 B区11·15·17号住居址·出土土器实测图



第31图 B区14·19号住居址·出土土器实测图

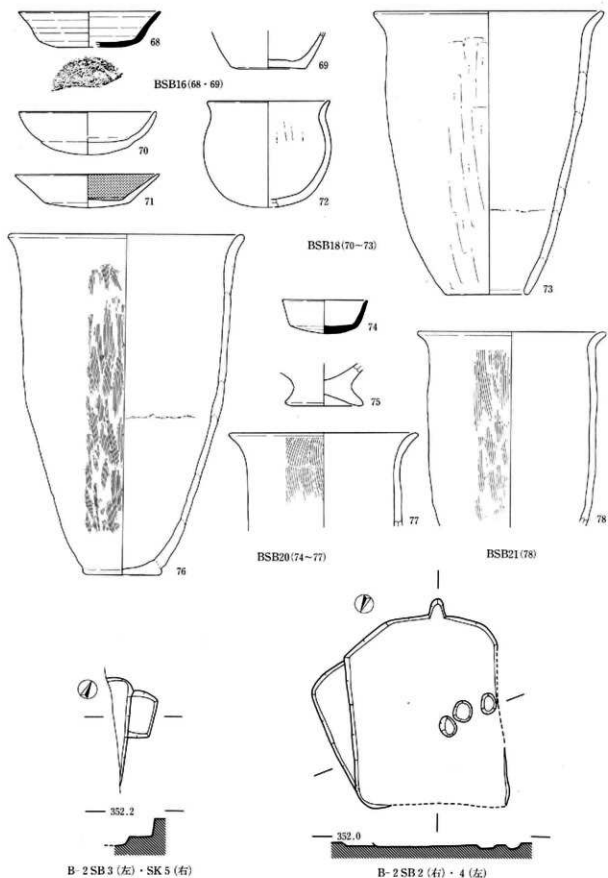


BSB16(中) · 18(左下) · 21(右上)

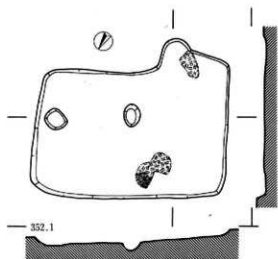


BSB20

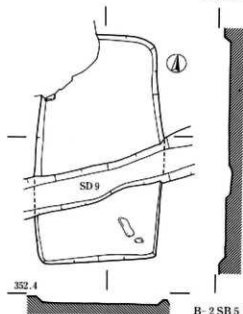
第32图 B区16·18·20·21号住居址实测图



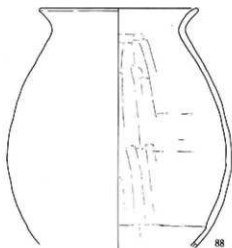
第33图 B区16·18·20·21号住居址出土土器、B-2区2~4号住居址·5号土坑夹测图



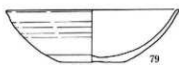
B-2 SB 1



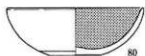
B-2 SB 5



B-2 SB 6 (88)



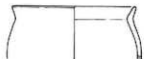
79



80



81



82

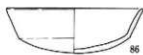


83

B-2 SB 1 (79-83)



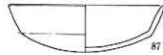
84



86

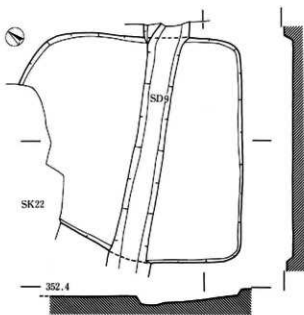


85



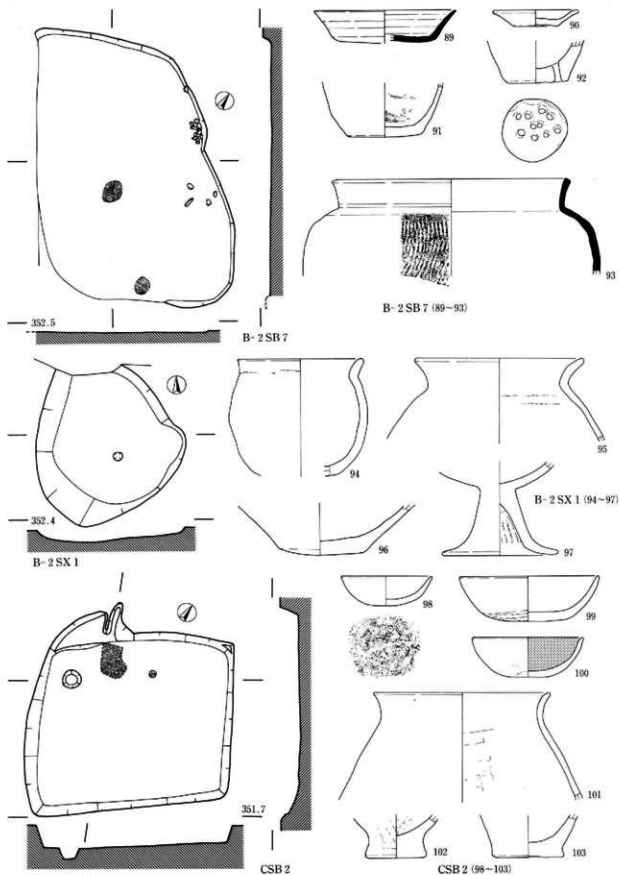
87

B-2 SB 5 (84-87)

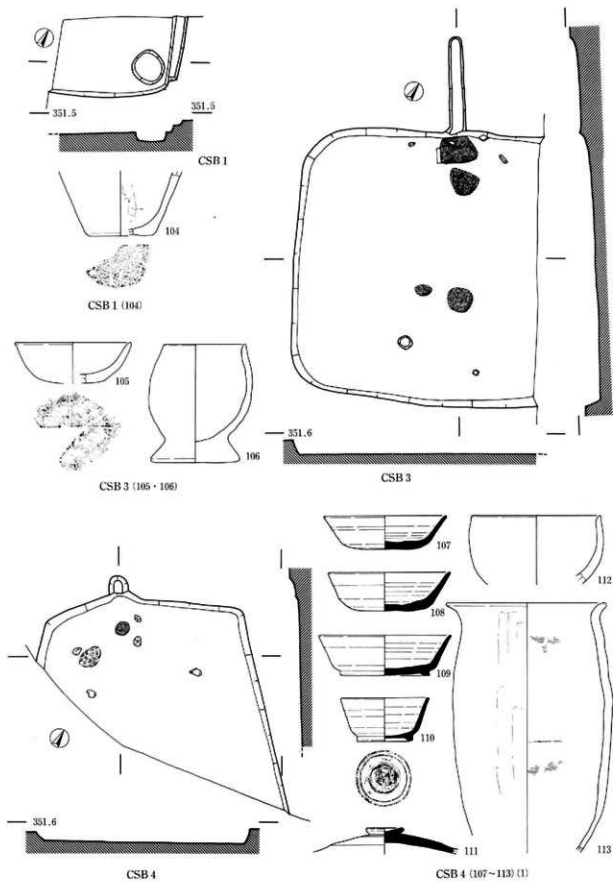


B-2 SB 6

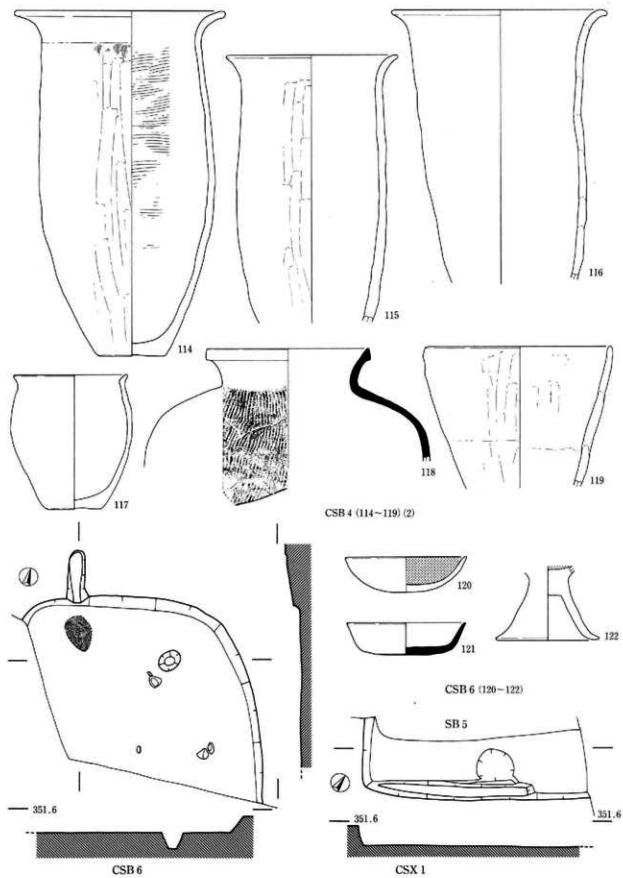
第34图 B-2区1·5·6号住居址·出土土器実測图



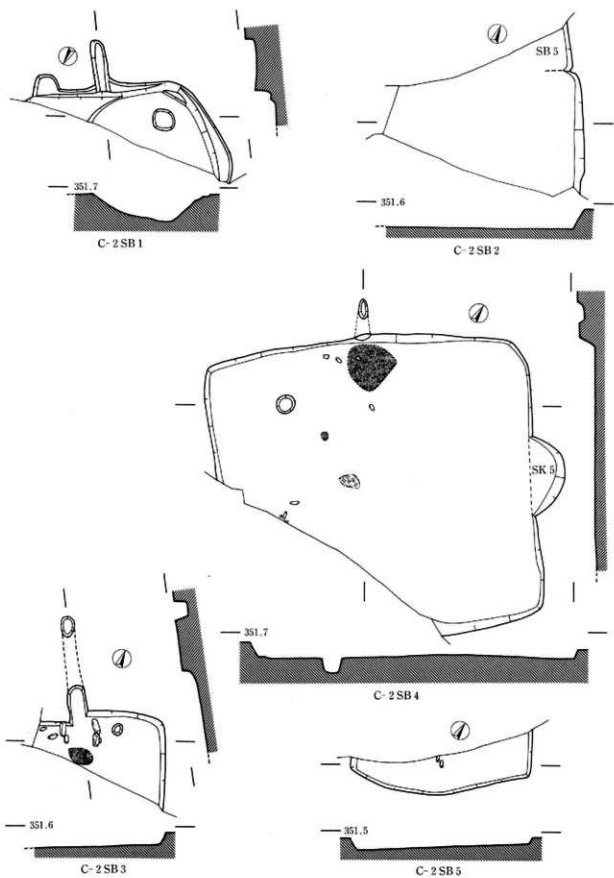
第35图 B-2区7号住居址·1号整穴状遗構、C区2号住居址·出土土器実測図



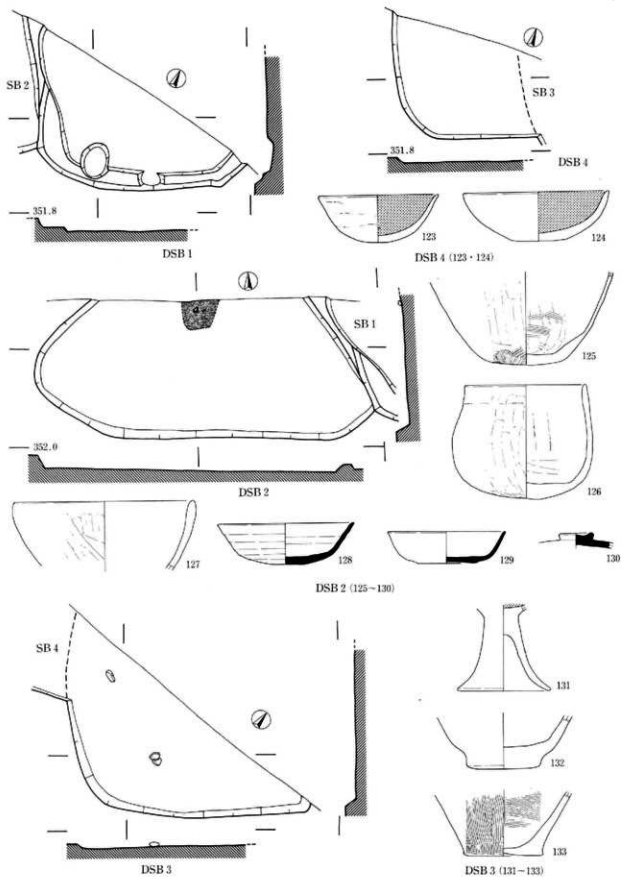
第36号 C区1·3·4号住居址·出土土器実測図



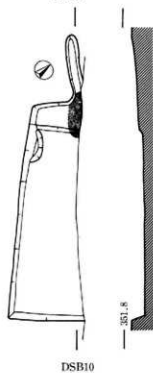
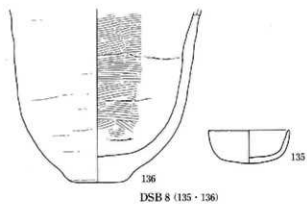
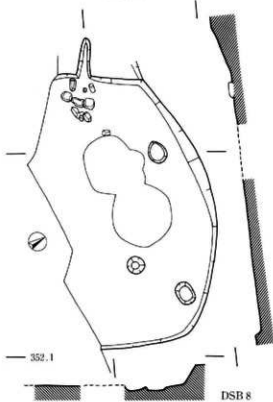
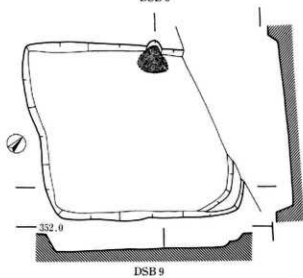
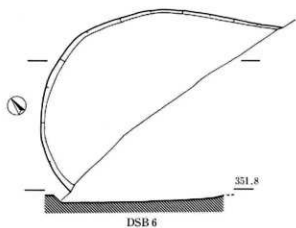
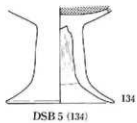
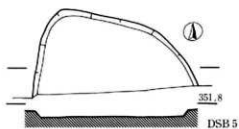
第37图 C区4·6号住居址·C区1号竖穴状遺構·出土土器実測図



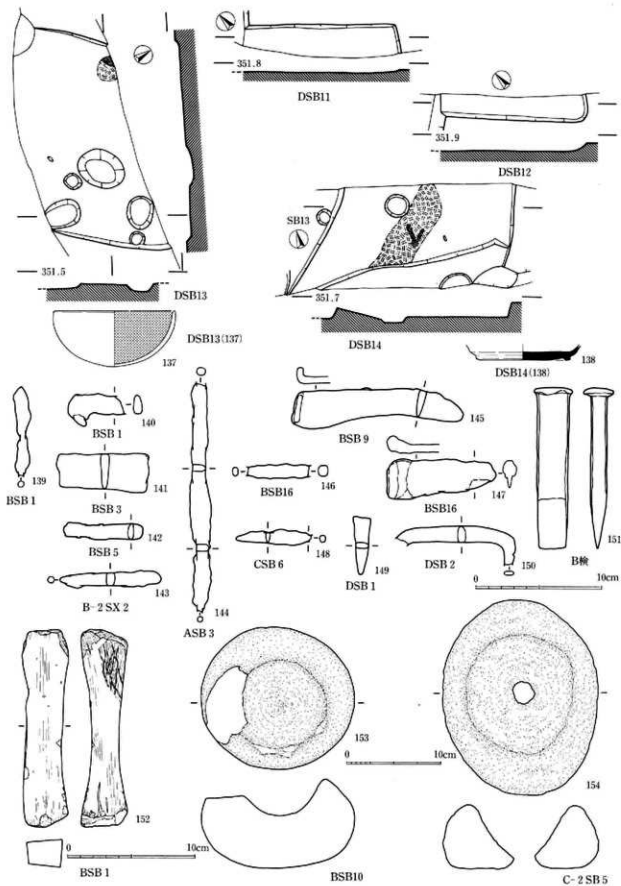
第38图 C-2区1~5号住居址实测图



第39图 D区1~4号住居址·出土土器夹线图



第40图 D区5·6·8~10号住居址·出土土器实测图



第41回 D区11~14号住居址・出土土器実測図、鉄製品・石製品実測図



A 1 号住居址



A 4 号土坑



A 2 号住居址



A 区全景



A 3 号住居址



B 1 号住居址



A 2 号土坑



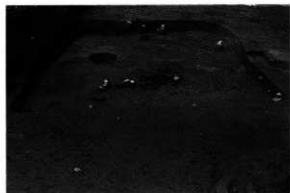
B 2 号住居址



B 4号住居址



B 9号住居址



B 5号住居址



B10号住居址



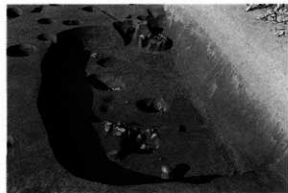
B 6号住居址



B11号住居址



B 7号住居址



B 2号 (上) · 12号住居址 (下)



B13号住居址



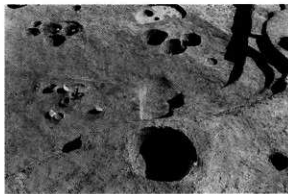
B16号住居址



B17号住居址



B14号住居址



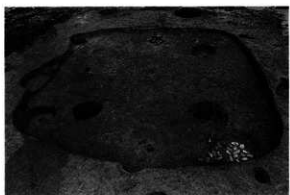
B18号住居址



B15号住居址



B19号住居址



B20号住居址



B17号土坑



B21号住居址



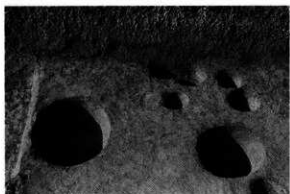
B1号(左)・2号溝址(右)



B1号土坑



B区全景南から臨む



B6号(左)・9号土坑(右)



参加者



B-2 1号住居址



B-2 6号住居址、9号沟址



B-2 2号住居址



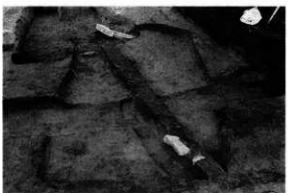
B-2 7号住居址



B-2 3号住居址



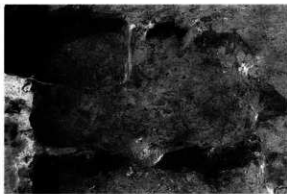
B-2 1号土坑



B-2 5号住居址



B-2 8号土坑



B-2 9号(左)・18号土坑(右)



B-2 23号土坑



B-2 10号(内)・16号土坑(外)



B-2 畝状遺構



B-2 上から19・18・9・17・10・16号土坑



B-2 3号溝址



B-2 8号沟址、13号土坑



C1号住居址



C2号住居址



B-2 10号沟址



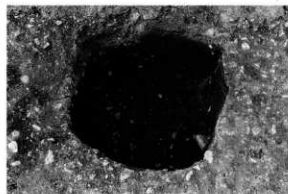
C3号住居址



C5号住居址



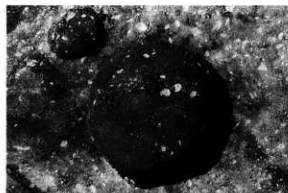
C 4号住居址



C 4号土坑



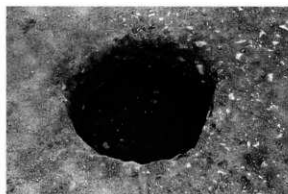
C 4号住居址カマド付近



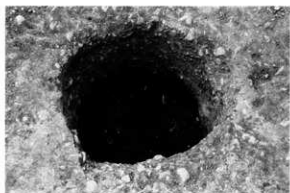
C 5号土坑



C 6号住居址



C 6号土坑



C 2号土坑



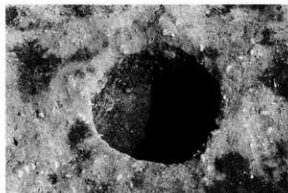
C 7号土坑



C 9号土坑



C15号土坑



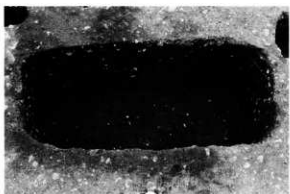
C11号土坑



C16号土坑



C12号土坑



C17号土坑



C13号土坑



C18号土坑